

文教委員会報告資料

令和2年3月13日

報告事項件名	頁
(教育指導部)	
(1) 小学校図書館支援業務事業者選定委員会の審査結果について……………	2
(2) 図書館を使った調べる学習コンクールの全国審査結果について……………	5
(3) 「よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート調査 (hyper-QU)」 の実施方法の変更案について……………	7
(4) 「令和元年度第2回学校生活及びいじめに関するアンケート調査」報告に ついて……………	14
(5) 令和元年度「東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」 の結果 (確定値) について……………	20
(学校運営部)	
(6) 「新・足立区放課後子ども総合プラン」の策定について……………	25
(7) 「足立区立学校における教員の働き方改革実施方針」の効果検証について	26
(8) 学校給食における食物アレルギー対応の変更内容について……………	38
(9) 令和2年度公益財団法人足立区生涯学習振興公社の事業計画及び収支予算 について……………	別添
(子ども家庭部)	
(10) 第2期足立区子ども・子育て支援事業計画の策定について……………	40
(11) 幼児教育・保育の無償化に係る給食費 (副食費) 区負担及び保護者負担軽 減費の拡大について……………	41
(12) 成人年齢引き下げに伴う式典等に関する区の方針について……………	43

(教 育 委 員 会)

文 教 委 員 会 報 告

令和2年3月13日

件 名	小学校図書館支援業務事業者選定委員会の審査結果について										
所管部課名	教育指導部教育政策課										
内 容	<p>公募型プロポーザル方式による小学校図書館支援員派遣事業者の審査結果について、次のとおり報告する。</p> <p>1 業務名 小学校図書館支援員派遣事業</p> <p>2 業務概要 (1) 学校図書館の環境整備 (2) 児童の読書活動の推進 (3) 学校図書館の活用充実</p> <p>3 選定委員会（プレゼンテーション）開催日 令和2年1月31日（金）</p> <p>4 選定委員 7名（学識経験者2名 区民2名 区内小学校長代表1名 区職員2名） ※ プレゼンテーションは区民1名欠席</p> <p>5 審査対象事業者 2者（提案書提出事業者 2者）</p> <p>6 審査結果</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">提 案 事 業 者</th> <th style="text-align: center;">得 点 (満点 630 点)</th> <th style="text-align: center;">得点率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">株式会社 図書館流通センター</td> <td style="text-align: center;">495 点</td> <td style="text-align: center;">78.6%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">第2順位事業者</td> <td style="text-align: center;">427 点</td> <td style="text-align: center;">67.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※詳細は、別紙のとおり</p>		提 案 事 業 者	得 点 (満点 630 点)	得点率	株式会社 図書館流通センター	495 点	78.6%	第2順位事業者	427 点	67.8%
提 案 事 業 者	得 点 (満点 630 点)	得点率									
株式会社 図書館流通センター	495 点	78.6%									
第2順位事業者	427 点	67.8%									

	<p>7 提案書特定事業者名 株式会社図書館流通センター（文京区大塚3-1-1）</p> <p>8 提案書特定日 令和2年2月3日（月）</p> <p>9 提案見積金額 102,465,000円（税抜） ※契約期間：令和2年4月～令和3年3月</p> <p>10 提案書特定事業者からの主な提案</p> <p>(1) 支援員の技術・能力向上の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 配置前研修：基礎研修＋学校図書館での実地研修 ・ 配置後研修：毎月の全員必修研修＋ステップアップの選択研修 ・ 業務推進員、巡回サポーターの配置による支援員の業務遂行におけるバックアップ体制の充実 <p>(2) 利用促進・読書推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の読書意欲を喚起する参加型読書イベントの実施 ・ 読みがたりやブックトーク、パネルシアター等の実施 <p>(3) 授業支援・学習支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員向け図書館ニュースの配信 ・ 百科事典や辞書の使いかたを学ぶオリエンテーションの実施 <p>(4) 連携体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校との業務計画会議の開催による定期的な業務内容調整 ・ 教育委員会への月次報告会等による連携の強化 ・ 区立図書館との定期的な情報交換、団体貸出の積極的活用
<p>問 題 点 今後の方針</p>	<p>4月1日からの事業開始に向け、学校及び事業者と調整し、事前の準備を進める。</p>

順位	社名	プレゼンテーション審査															合計	平均点	
		企画概要 (25)			業務体制 (30)						業務手法 (30)			効果予測 (5)	その他提案 (5)	コスト (5)			区内本店加算 (5) 区内支店加算 (3)
		業務実施方針 内容の 的確性 (10)	業務の 独創性 (10)	業務実 績 (5)	業務体 制の妥 当性 (10)	人員の 資質の 担保・ 向上 (5)	人員の 業務能 力 (5)	法令順 守の姿 勢 (5)	緊急時 対応の 迅速さ・ 適切さ (5)	学校と の調整 や支援 方法等 の妥当 性 (10)	基本的 業務・ 環境整 備業務 の妥当 性 (15)	読書支 援・学 習支援 業務の 妥当性 (5)	業務の 実現性 (5)	特に評 価すべ き事項 (5)	提案見 積価格 (5)				
1	株式会社図書館流通センター	51	52	27	49	24	25	26	22	46	72	26	25	25	25	0	495	82.5	
2	第2順位事業者	40	41	17	44	16	25	23	21	40	60	17	18	15	20	30	427	71.2	

文教委員会報告資料

令和2年3月13日

件名	図書館を使った調べる学習コンクールの全国審査結果について																																																																																		
所管部課名	教育指導部教育指導課																																																																																		
内容	<p>1 足立区の応募状況と全国審査への出品について 下表の足立区入選作品131作品を全国審査に出品した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">作品数</th> <th colspan="5">応募総数</th> </tr> <tr> <th colspan="3">小学校</th> <th rowspan="2">中学校</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>低学年</th> <th>中学年</th> <th>高学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>応募総数</td> <td>713 (133)</td> <td>1414 (229)</td> <td>2286 (134)</td> <td>2189 (286)</td> <td>6602 (782)</td> </tr> <tr> <td>足立区入選 ※全国審査に出品</td> <td>18 (14)</td> <td>25 (15)</td> <td>50 (15)</td> <td>38 (15)</td> <td>131 (59)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※()は昨年度</p> <p>2 全国コンクールについて ※応募総数116,554作品</p> <p>(1) 審査結果 足立区から全国コンクールに出品した131作品のうち、12作品が優良賞、奨励賞に選出された。優良賞は最終審査まで残っていた作品であり、応募総数の増加とともに作品の質も向上した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>賞の種類</th> <th>足立区受賞者数</th> <th>全国受賞者全体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入賞</td> <td>0 (0)</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>優良賞</td> <td>4 (0)</td> <td>160</td> </tr> <tr> <td>奨励賞</td> <td>8 (0)</td> <td>299</td> </tr> <tr> <td>佳作</td> <td>119 (16)</td> <td>1540</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>131 (16)</td> <td>2029</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※()は昨年度</p> <p>(2) 入選作品</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="4">優良賞</th> <td>本と赤ちゃんは、友だち</td> <td>長門小学校</td> <td>2年</td> </tr> <tr> <td>人と暮らす鳥</td> <td>渚江小学校</td> <td>3年</td> </tr> <tr> <td>カラスをきらいにならないで!~カラスと人の共生について考える~</td> <td>長門小学校</td> <td>5年</td> </tr> <tr> <td>異常気象と天気図について</td> <td>第一中学校</td> <td>1年</td> </tr> <tr> <th rowspan="8">奨励賞</th> <td>かなしい原ばく あの日のできごと</td> <td>亀田小学校</td> <td>3年</td> </tr> <tr> <td>もっと知りたいハチのこと</td> <td>西新井第一小学校</td> <td>4年</td> </tr> <tr> <td>花火は人をみりょうする</td> <td>長門小学校</td> <td>5年</td> </tr> <tr> <td>食品ロスって何?</td> <td>綾瀬小学校</td> <td>5年</td> </tr> <tr> <td>カエルは綾瀬にまだいるのか</td> <td>綾瀬小学校</td> <td>6年</td> </tr> <tr> <td>世界の両生類・爬虫類</td> <td>東綾瀬中学校</td> <td>1年</td> </tr> <tr> <td>カビの不思議について~カビはどうやって防げるのか~</td> <td>第四中学校</td> <td>1年</td> </tr> <tr> <td>花火について~夏の風物詩を楽しむために~</td> <td>第十中学校</td> <td>2年</td> </tr> </thead> </table>	作品数	応募総数					小学校			中学校	合計	低学年	中学年	高学年	応募総数	713 (133)	1414 (229)	2286 (134)	2189 (286)	6602 (782)	足立区入選 ※全国審査に出品	18 (14)	25 (15)	50 (15)	38 (15)	131 (59)	賞の種類	足立区受賞者数	全国受賞者全体	入賞	0 (0)	30	優良賞	4 (0)	160	奨励賞	8 (0)	299	佳作	119 (16)	1540	合計	131 (16)	2029	優良賞	本と赤ちゃんは、友だち	長門小学校	2年	人と暮らす鳥	渚江小学校	3年	カラスをきらいにならないで!~カラスと人の共生について考える~	長門小学校	5年	異常気象と天気図について	第一中学校	1年	奨励賞	かなしい原ばく あの日のできごと	亀田小学校	3年	もっと知りたいハチのこと	西新井第一小学校	4年	花火は人をみりょうする	長門小学校	5年	食品ロスって何?	綾瀬小学校	5年	カエルは綾瀬にまだいるのか	綾瀬小学校	6年	世界の両生類・爬虫類	東綾瀬中学校	1年	カビの不思議について~カビはどうやって防げるのか~	第四中学校	1年	花火について~夏の風物詩を楽しむために~	第十中学校	2年
	作品数		応募総数																																																																																
			小学校			中学校	合計																																																																												
		低学年	中学年	高学年																																																																															
	応募総数	713 (133)	1414 (229)	2286 (134)	2189 (286)	6602 (782)																																																																													
	足立区入選 ※全国審査に出品	18 (14)	25 (15)	50 (15)	38 (15)	131 (59)																																																																													
	賞の種類	足立区受賞者数	全国受賞者全体																																																																																
	入賞	0 (0)	30																																																																																
	優良賞	4 (0)	160																																																																																
	奨励賞	8 (0)	299																																																																																
佳作	119 (16)	1540																																																																																	
合計	131 (16)	2029																																																																																	
優良賞	本と赤ちゃんは、友だち	長門小学校	2年																																																																																
	人と暮らす鳥	渚江小学校	3年																																																																																
	カラスをきらいにならないで!~カラスと人の共生について考える~	長門小学校	5年																																																																																
	異常気象と天気図について	第一中学校	1年																																																																																
奨励賞	かなしい原ばく あの日のできごと	亀田小学校	3年																																																																																
	もっと知りたいハチのこと	西新井第一小学校	4年																																																																																
	花火は人をみりょうする	長門小学校	5年																																																																																
	食品ロスって何?	綾瀬小学校	5年																																																																																
	カエルは綾瀬にまだいるのか	綾瀬小学校	6年																																																																																
	世界の両生類・爬虫類	東綾瀬中学校	1年																																																																																
	カビの不思議について~カビはどうやって防げるのか~	第四中学校	1年																																																																																
	花火について~夏の風物詩を楽しむために~	第十中学校	2年																																																																																
問題点 今後の方針	全国審査で上位に入った作品を各校で紹介する場を設けるなど、よい作品を児童・生徒に広く周知し、本事業への意識の向上を図り、より多くの学校、児童・生徒が参加できるようにする。																																																																																		

第2回 足立区 図書館を調べる学習コンクール【第二次審査】と全国コンクールの結果

足立区【第二次審査】				全国コンクール
足立区特別賞名	学校名	学年	作品名	
教育長賞	興本小学校	1	ぼくの歯 恐竜の歯	
	亀田小学校	3	かなしい原ばく あの日のできごと	◇奨励賞
	関原小学校	6	謎解き！中曽根城	
	第十中学校	2	花火について～夏の風物詩を楽しむために～	◇奨励賞
教育委員賞	千寿常東小学校	2	化石はつくつたいけん	
	長門小学校	2	本と赤ちゃんは、友だち	◆優良賞
	花保小学校	2	はじめてしまった手話	
	亀田小学校	2	虫	
	浏江小学校	3	このすし じつは だれ	
	浏江小学校	3	人と暮らす鳥	◆優良賞
	足立小学校	3	ファッションデザイナーになりたいな	
	千寿第八小学校	4	夢のリニア中央新幹線 未来を乗せて	
	綾瀬小学校	5	食品ロスって何？	◇奨励賞
	梅島第一小学校	5	米は汗と努力の結晶だ！	
	長門小学校	5	カラスをきれいにしないであらう！～カラスと人の共生について考える～	◆優良賞
	舎人第一小学校	6	給食について	
	第四中学校	1	カビの不思議について～カビはどうやって防げるのか～	◇奨励賞
	第一中学校	1	異常気象と天気図について	◆優良賞
	鹿浜菜の花中学校	1	花粉症はつらいよ	
	東綾瀬中学校	1	日本の衣服の歴史	
学校図書館部担当校長賞	中川小学校	2	どうしてうみの水はしょっぱいの？	
	千寿桜小学校	2	こうたろう ゴリマッチョ計画	
	保木間小学校	3	わたしのすきな生き物図鑑	
	西新井第一小学校	4	お金について	
	長門小学校	5	花火は人をみりょうする	◇奨励賞
	弥生小学校	5	選挙に行くのって面倒？	
	扇中学校	2	83歳を考える～寿命について～	
	扇中学校	2	納豆のヒミツ	
図書館長賞	大谷田小学校	2	亀有・綾瀬きょうかい線はどこなの？	
	西新井第一小学校	4	もっと知りたいハチのこと	◇奨励賞
	西新井第一小学校	5	食料自給率って何だろう？	
	江南中学校	1	赤ちゃんの脳はどうなっている？	
教育指導課長賞	古千谷小学校	1	点字をやって、ゆびでたのしむえをつくる	
	千寿本町小学校	3	とび出す絵本について	
	長門小学校	5	名字のなぞ	
	江南中学校	1	イルカはなぜ歌うのか？	

※以下、足立区調べる学習コンクールでは特別賞外であったが、全国コンクールで受賞した作品

特別賞外	綾瀬小学校	6	カエルは綾瀬にまだいるのか	◇奨励賞
	東綾瀬中学校	1	世界の両生類・爬虫類	◇奨励賞

文 教 委 員 会 報 告 資 料

令和2年3月13日

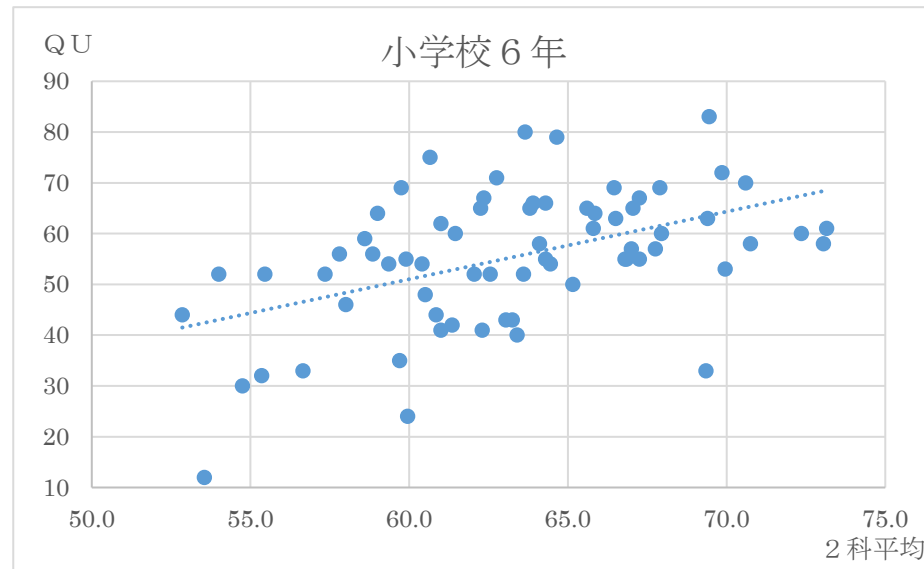
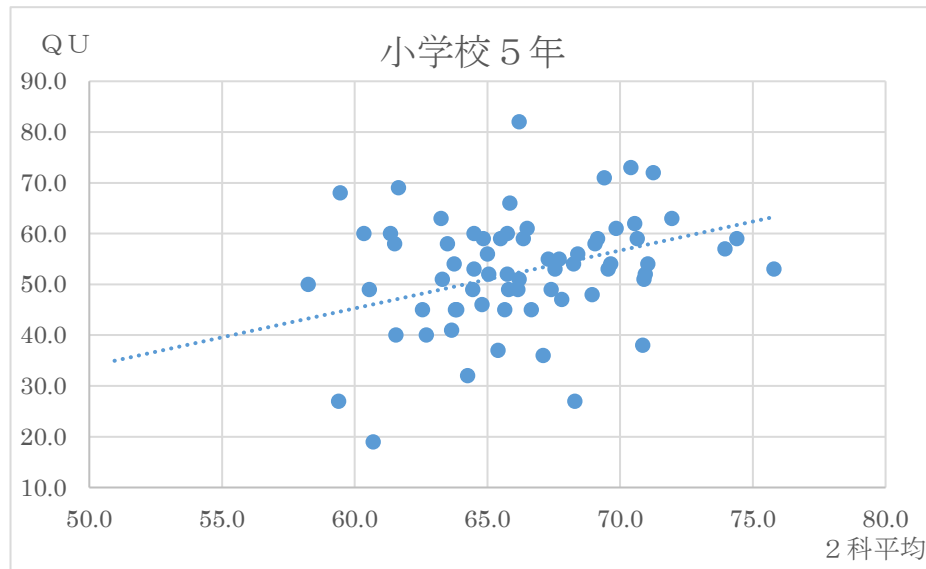
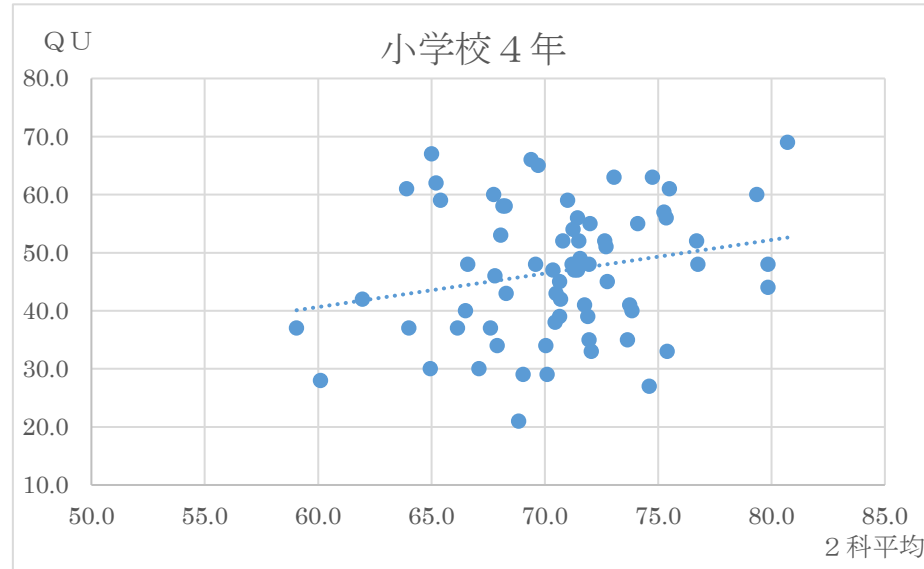
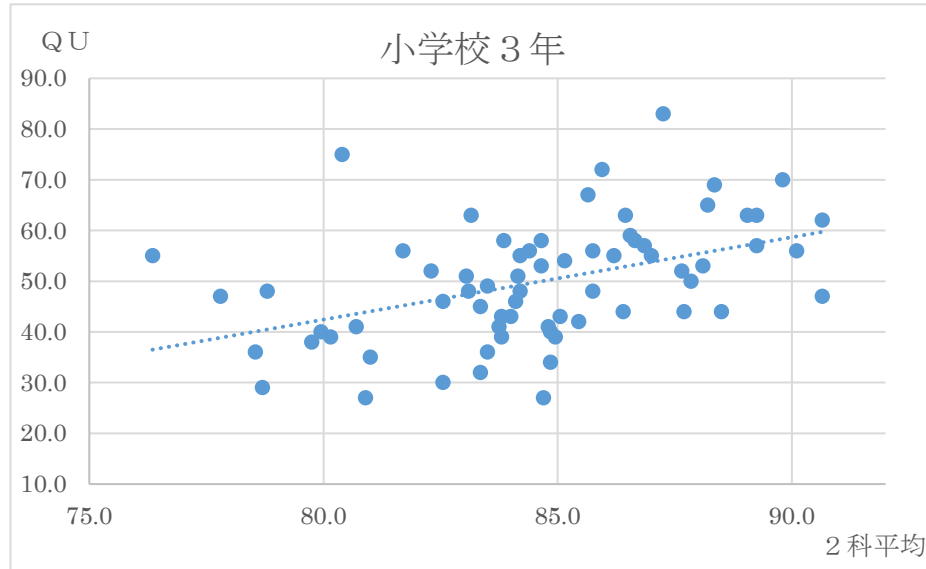
件 名	「よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート調査 (hyper-QU)」の実施方法の変更案について													
所 管 部 課 名	教育指導部教育指導課													
内 容	<p>1 実施方法の変更</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 40%;">従来</th> <th style="width: 45%;">次年度以降 (案)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">実施回数</td> <td style="text-align: center;">年1回</td> <td style="text-align: center;">年2回</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">時 期</td> <td style="text-align: center;">4月末から7月に実施</td> <td style="text-align: center;">4～5月と12月実施</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">対象学年</td> <td>小学校3年生～中学校3年生 (小学校3年生頃から友人関係や学習意欲における課題が見られ始めるため)</td> <td style="text-align: center;">同左</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 変更理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1回実施では、結果を活用した手だてを講じたのちの学級状況の変化を検証することができなかった。 ・ 年度当初の手だてを講じた後の比較を可能にし、改善につながった具体的な取り組みを明らかにしていく。 <p>3 学力等との相関関係</p> <p>(1) 学力との相関関係について (別紙1)</p> <p style="padding-left: 20px;">小中学校ともに「満足群」にいる児童・生徒が多いと、学力調査の正答率が高い傾向が見られる。</p> <p>(2) 不登校出現率との相関関係について (別紙2)</p> <p style="padding-left: 20px;">中学校のみ「満足群」にいる生徒が多いと、不登校の出現率が低くなる傾向が見られる。小学校においては、相関関係が見られなかった。</p> <p>4 今年度の調査結果 (別紙3～6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 概ねこれまでと同様の傾向である。 ・ 「学級満足度尺度」「やる気のあるクラスをつくるためのアンケート」において、小中学校ともに全国平均よりも良い傾向がみられる。 			従来	次年度以降 (案)	実施回数	年1回	年2回	時 期	4月末から7月に実施	4～5月と12月実施	対象学年	小学校3年生～中学校3年生 (小学校3年生頃から友人関係や学習意欲における課題が見られ始めるため)	同左
	従来	次年度以降 (案)												
実施回数	年1回	年2回												
時 期	4月末から7月に実施	4～5月と12月実施												
対象学年	小学校3年生～中学校3年生 (小学校3年生頃から友人関係や学習意欲における課題が見られ始めるため)	同左												
問 題 点 今 後 の 方 針	よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート調査 (hyper-QU)の結果を、これまで以上に学級づくりに活用していく。													

1 「いごちのよいクラスにするためのアンケート」結果と足立区学力調査結果との関係について

縦軸：「いごちのよいクラスにするためのアンケート」学級生活満足群 (%)

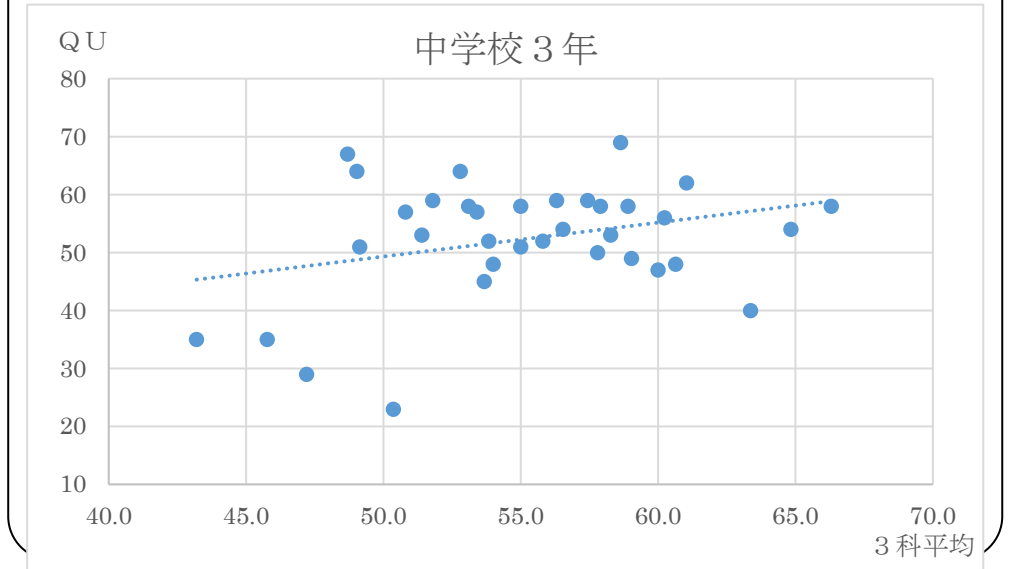
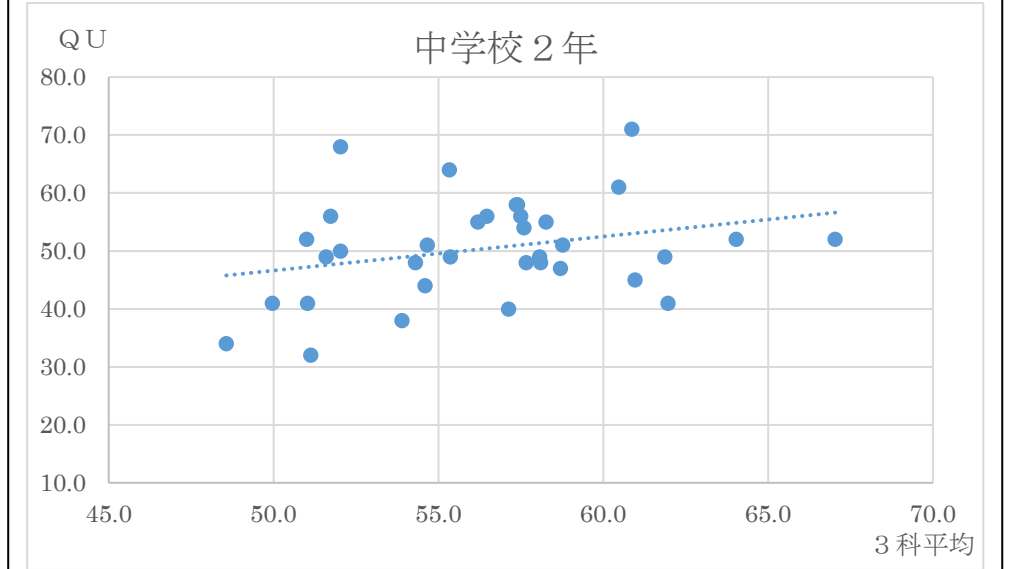
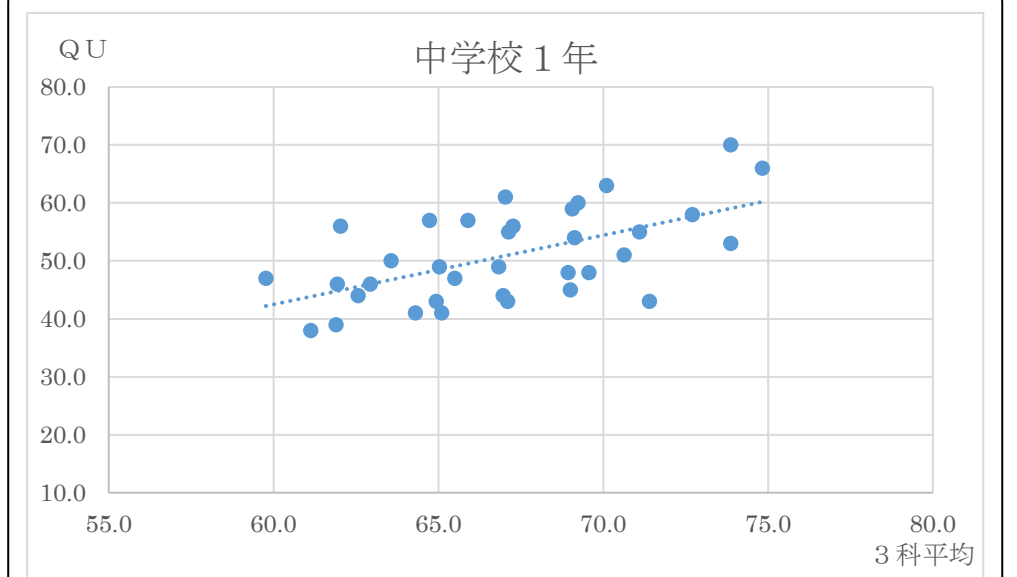
横軸：足立区学力調査 正答率平均 (%)

〈 小学校 〉



「満足群」にいる児童・生徒が多いと、小学校、中学校ともに学力調査の正答率が高くなる傾向がある。安定したやる気のある学級集団を作り上げることで、学力を向上することができると考えられる。

〈 中学校 〉

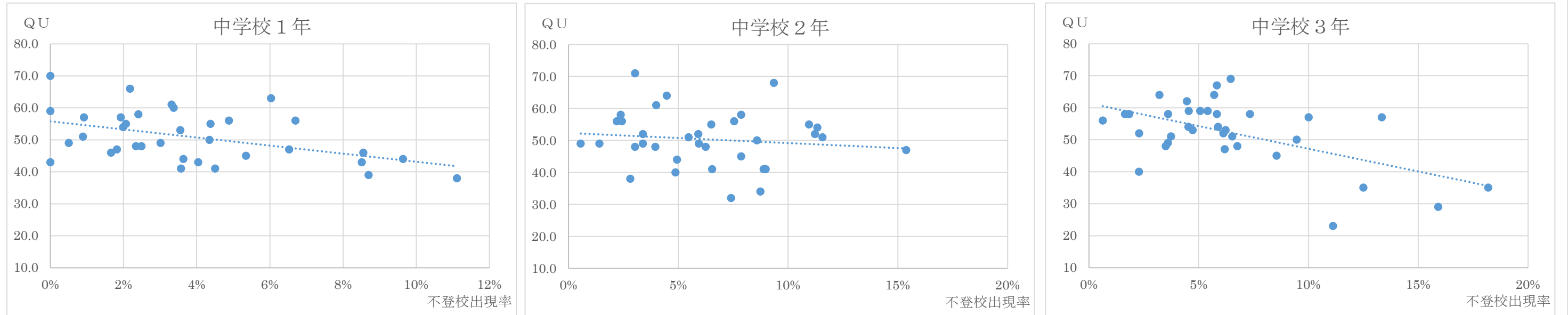


2 「いごちのよいクラスにするためのアンケート」結果と不登校出現率との関係について

縦軸：「いごちのよいクラスにするためのアンケート」学級生活満足群（％）

横軸：不登校出現率（％）

〈 中学校 〉



中学校においては、2年生を除き、「満足群」にいる生徒が多いと、不登校の出現率が低くなる傾向がある。

小学校においては、相関関係は認められない。

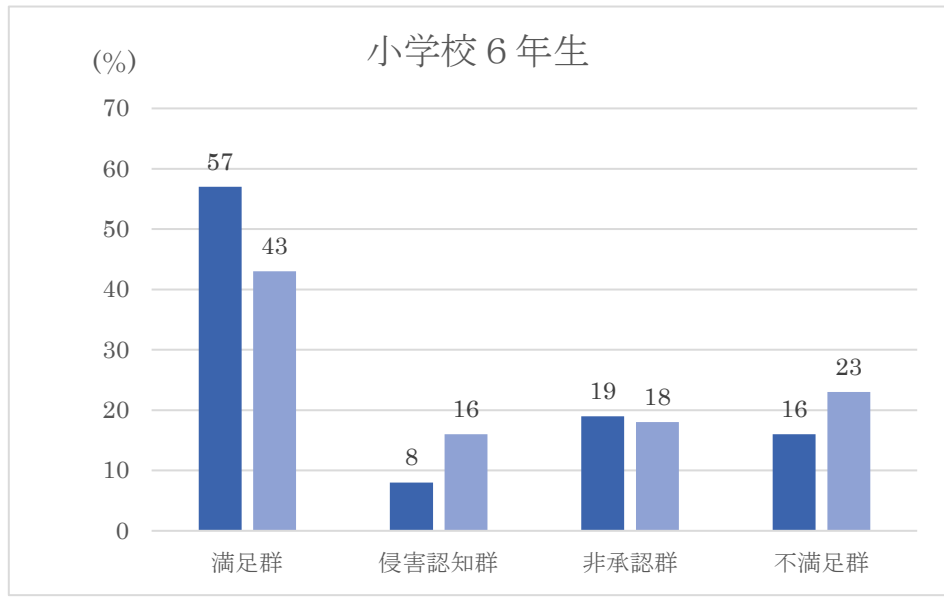
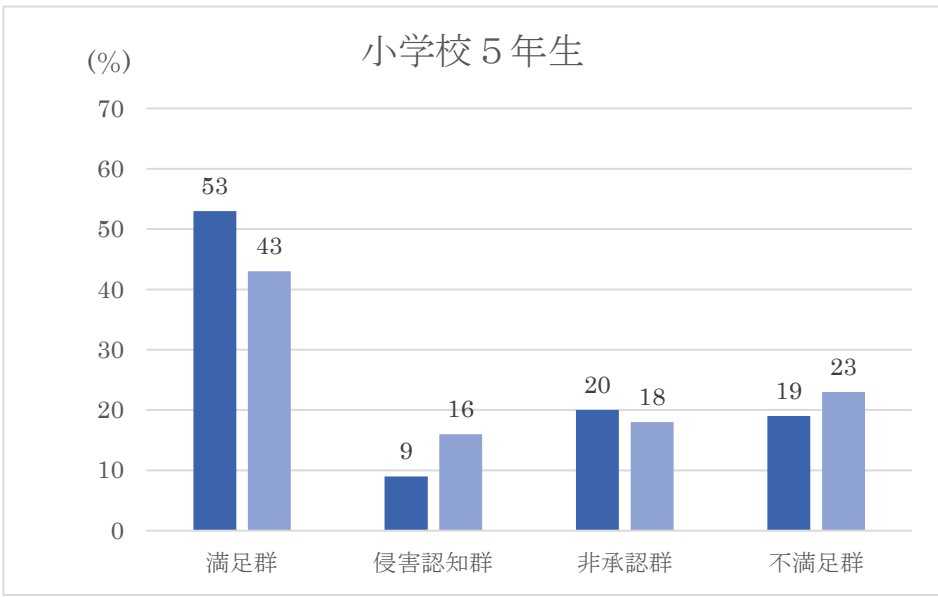
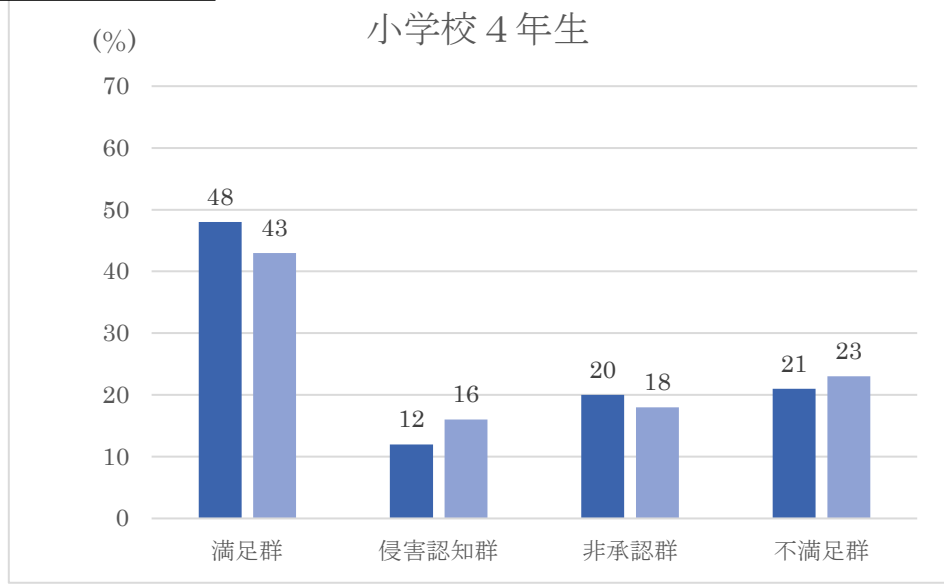
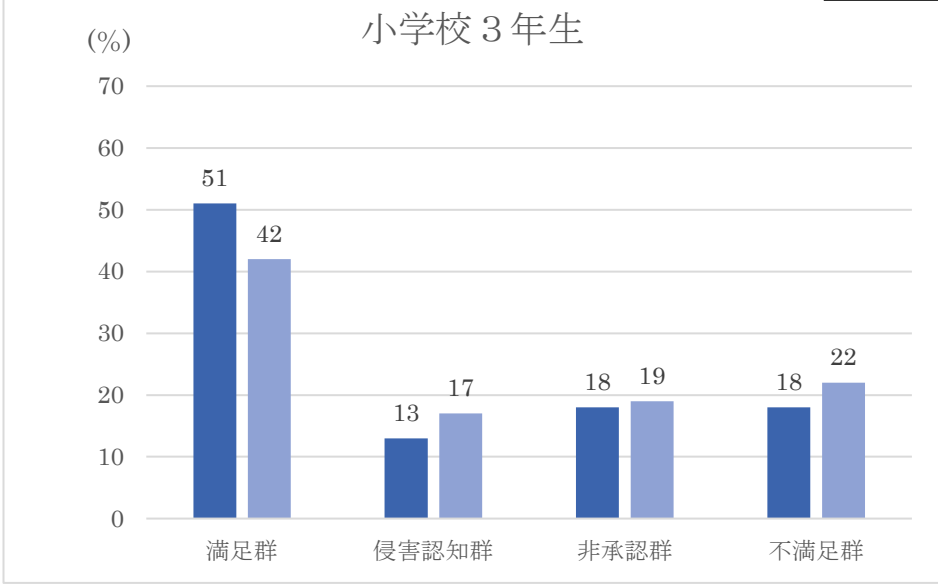
学級を親和的な雰囲気にし、学校の居心地を良くすることで、いじめ・不登校の未然防止に役立て、不登校の出現率を減らしていくことができると考えられる。

3 「いこちのよいクラスにするためのアンケート」結果

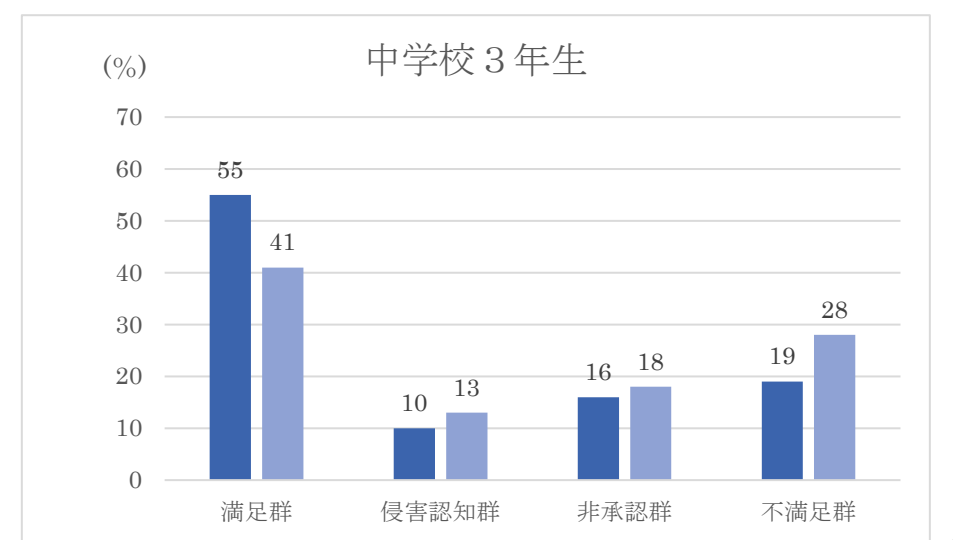
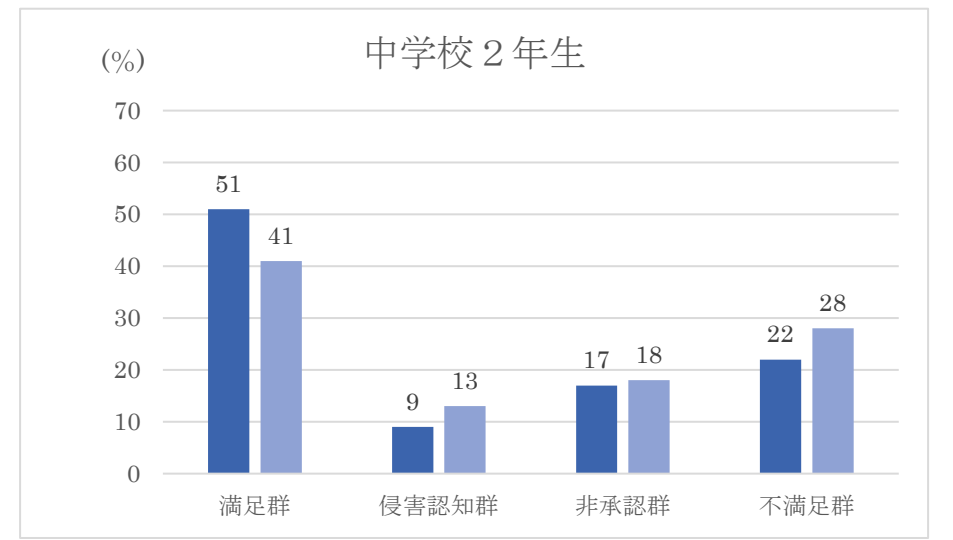
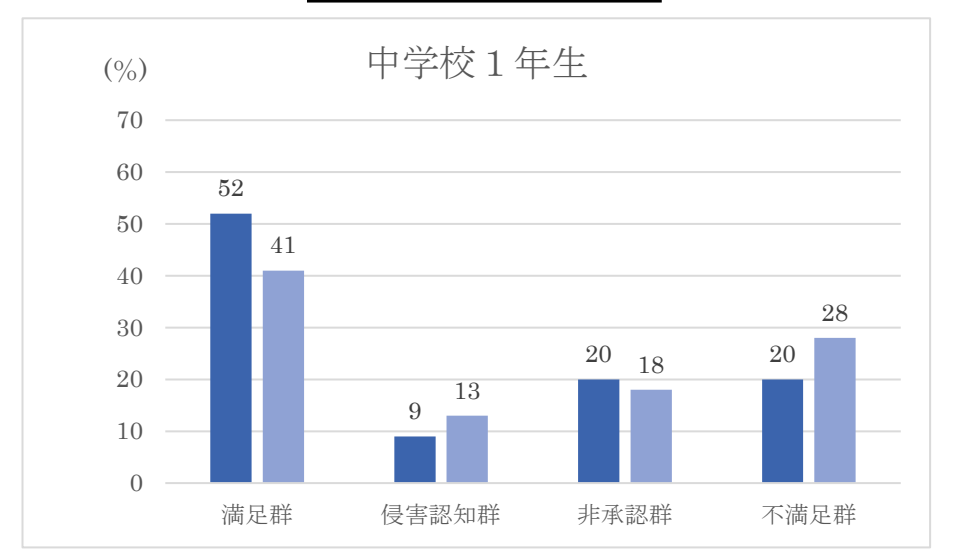
■ 足立区 ■ 全国平均

学級満足度尺度

〈小学校〉



〈中学校〉

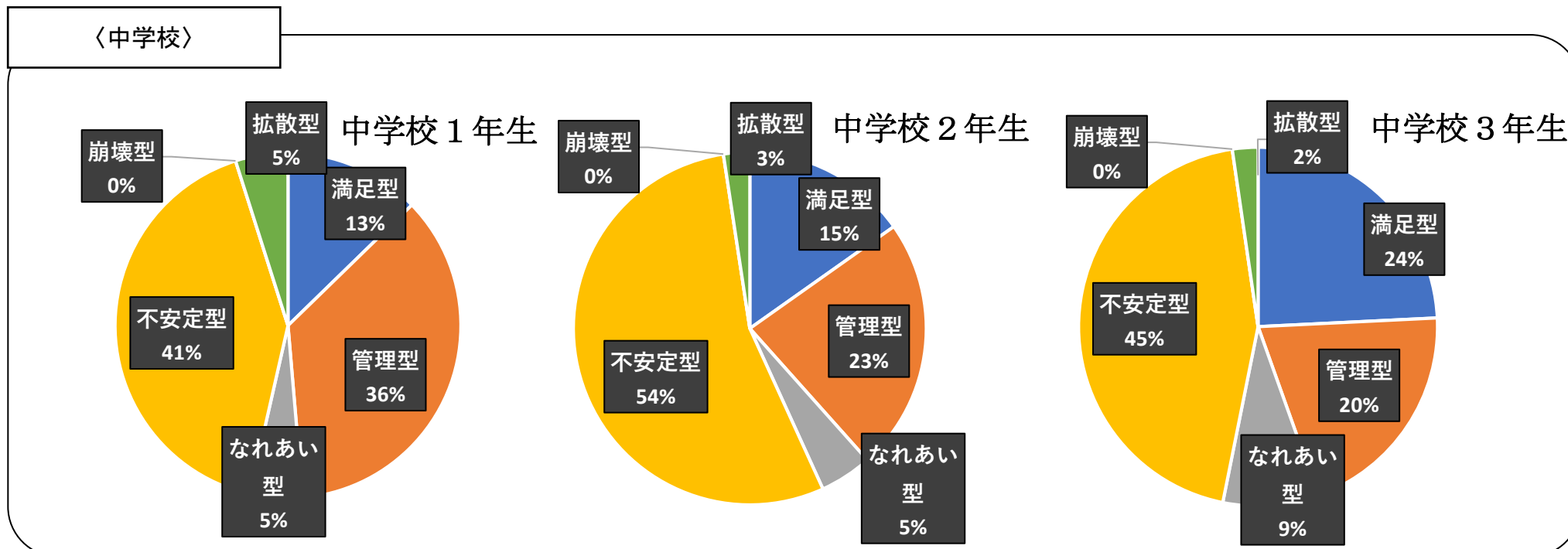
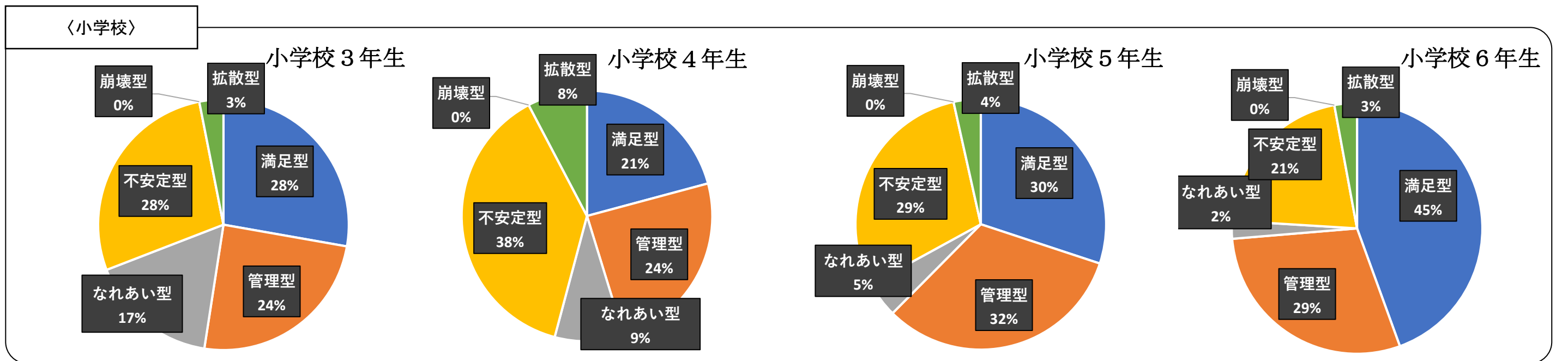


満足群…学級内に自分の居場所があり、学校生活を意欲的に送っている児童・生徒。
 侵害認知群…いじめや悪ふざけを受けているか、他の児童・生徒とトラブルがある可能性が高い児童・生徒。
 非承認群…いじめや悪ふざけを受けてはいないが、学級内で認められることが少ない児童・生徒。
 不満足群…耐えられないいじめや悪ふざけを受けているか、非常に不安傾向が強い児童・生徒。
 ※ 端数処理の都合上、合計が100%にならない場合がある。

児童・生徒の学級満足度は、小学校、中学校ともに全国平均より満足度が高く、侵害認知群、不満足群が全国平均より低くなっていることから、学級の中で温かい交流が図られていることがうかがえる。しかし、小学校4年生から中学校1年生までは、非承認群が全国平均または全国平均より1～2ポイント高くなっていることから、学級内で認められることが少ないと感じている児童・生徒への自己有用感を高めるための担任や学校による援助を行っていく。

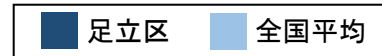
学級の型の傾向

学級の型	学級集団の状態	対応
満足型	ルールと児童・生徒同士のかかわり合いが同時に確立している状態。	基本的に現在の方針で学級経営を継続するが、定期的に学級集団の状態を確認する。
管理型	静かで落ち着いた学級に見えるが、意欲の個人差が大きく、人間関係が希薄な状態。	全ての子どもが認められる場面を設定する、子ども同士で認め合える場を設定する。
なれあい型	自由にのびのびした雰囲気に見えるが、学級のルールが低下している状態。	授業等の取り組む内容と意義、その際のルールや役割を全体で確認することを確実に行う。
不安定型	ルールや児童・生徒同士のかかわり合いの確立が低く、荒れはじめの状態。	子どもが個人でやるべきことに取り組む、ルールにしたがって活動するという習慣を形成させる。
崩壊型	ルールと児童・生徒同士のかかわり合いが共に喪失している状態。	担任一人ではなく、複数の教師の協力を仰ぎ、組織的に統一した取り組みを行う。
拡散型	教師から、ルールを確立させるための一貫した指導がなされていない状態。	教師が適切なリーダーシップをとり、方向性を示唆していく。

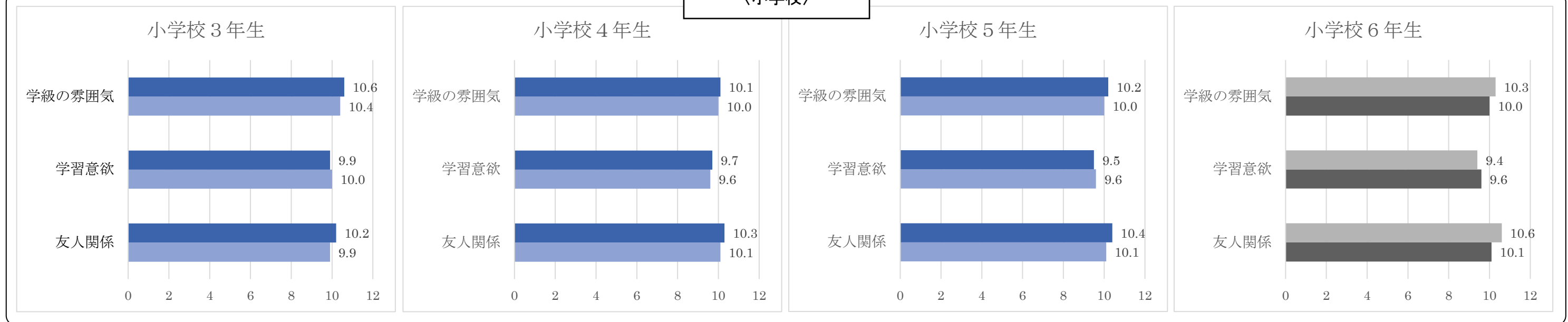


学級の型の傾向は、小学校では、4年生が他学年と比べ、「満足型」の低さと「不安定型」の高さが顕著である。
 この結果から、中学年の学級経営が安定して行えるよう、校内での支援や適切な方策を立て、行っていく。
 中学校では、学年進行に応じてが上がるにつれ、「満足型」が高くなっているが、「不安定型」が3年間を通して1番大きな割合をしめている。
 この結果から、継続的に親和的な学級づくりが行われるよう、校内での組織的な取り組みを行っていく。

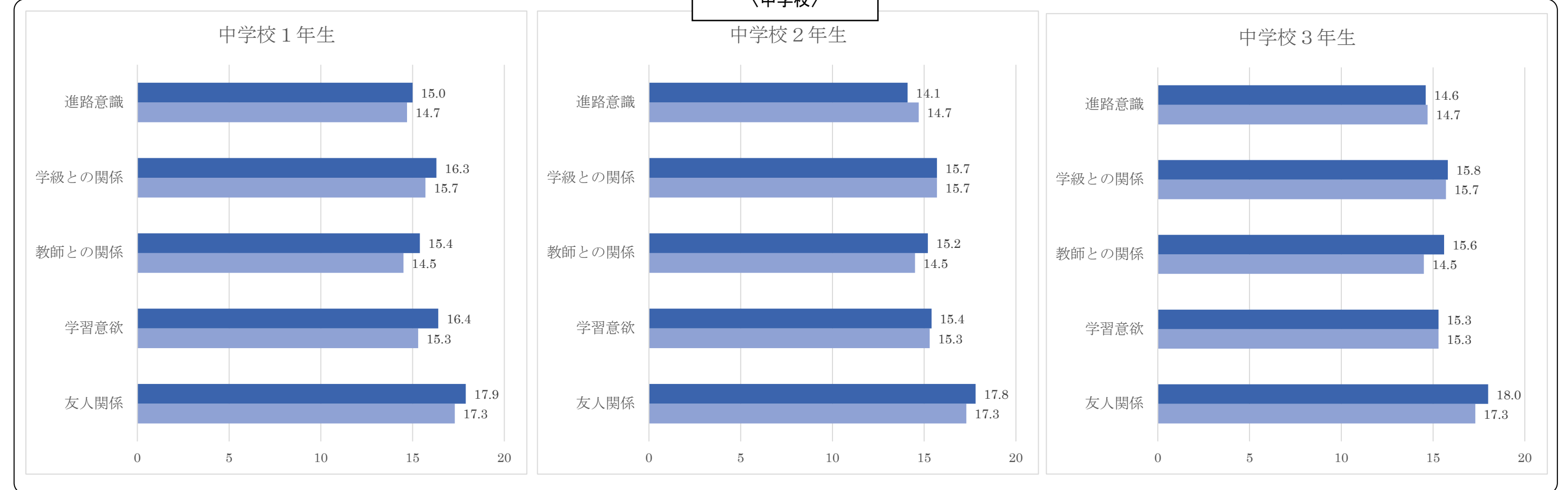
4 「やる気のあるクラスをつくるためのアンケート」結果



〈小学校〉



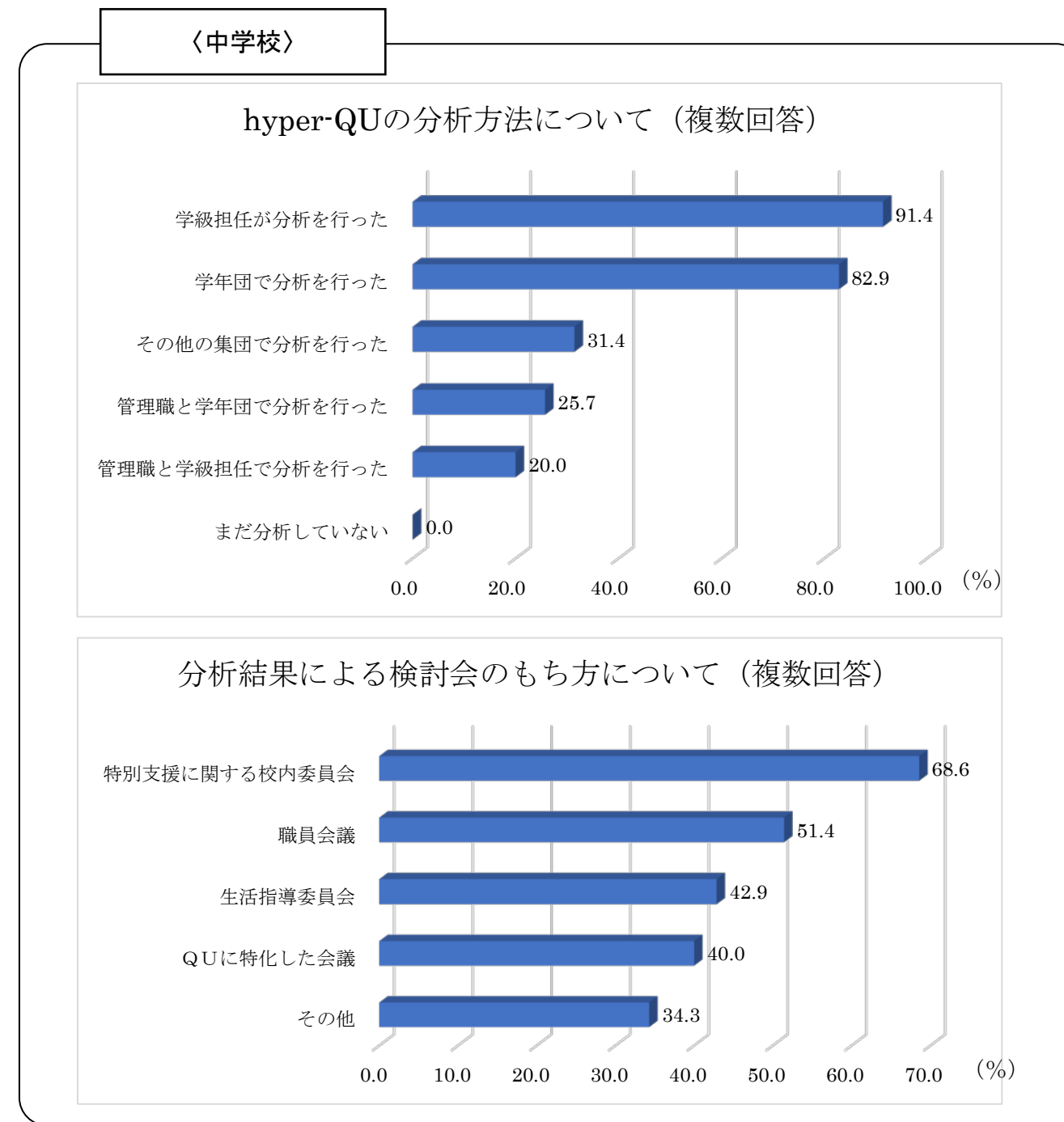
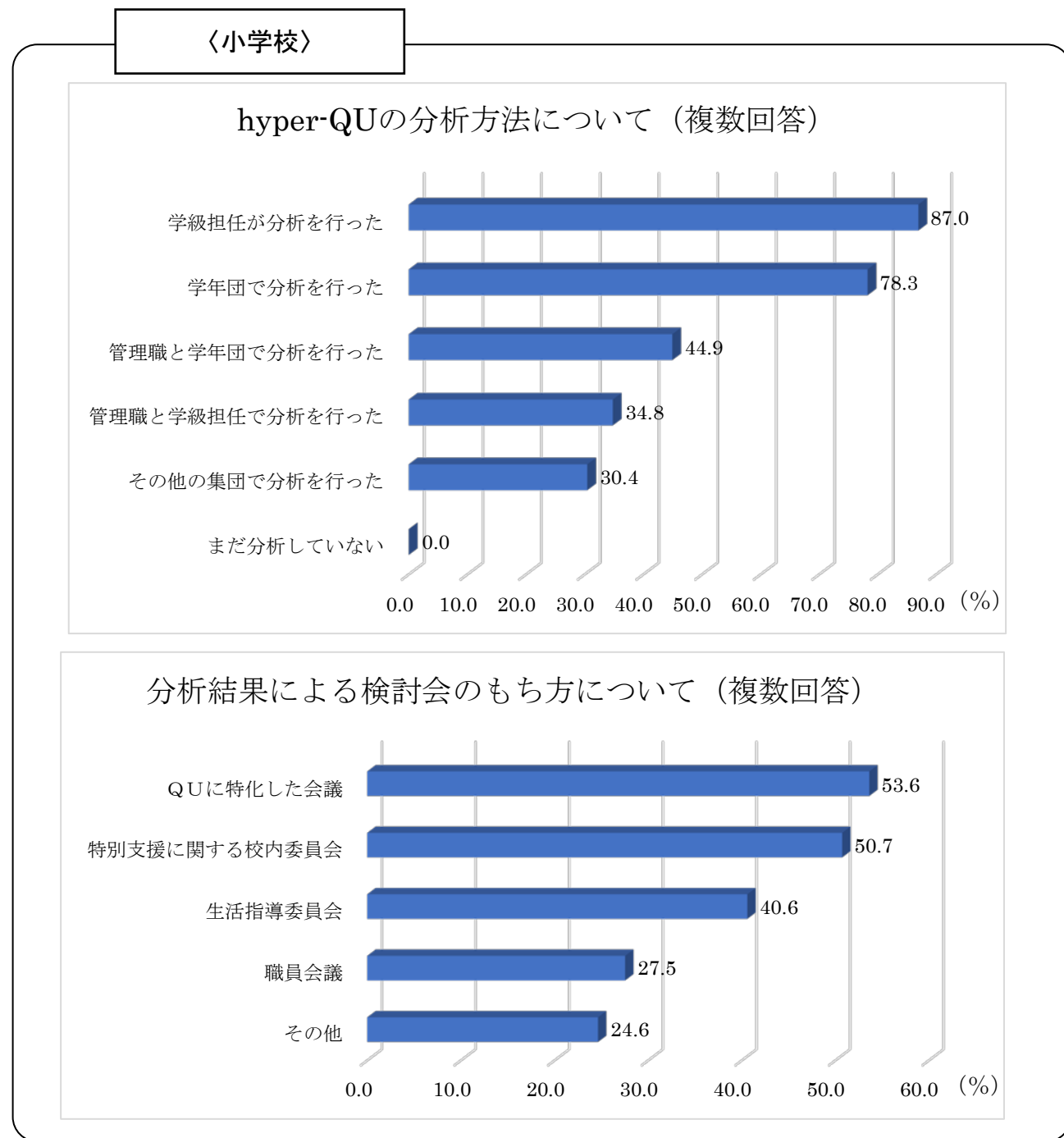
〈中学校〉



小学校、中学校ともにほとんどの調査項目において、全国平均を上回っている。足立区内の小学校、中学校においては、学校の居心地が良く、やる気のある学級づくりがなされていることがうかがえる。
 しかし、中学校2年生の「進路意識」のポイントが低いことから、職場体験などと日々の学習を関連付けることで、生徒が自らの進路を意欲的に考えることができるようキャリア教育の充実と、小学校からの系統的な指導の改善を行っていく。

5 各学校における調査結果の分析について

※実施した分析方法、検討会のもち方に対する学校の割合を示した。



成果

- ・ 教員の経験則に基づく観察や面接による児童・生徒の実態把握に加えて、児童・生徒の心の状況を客観的にとらえた結果を利用することにより、児童・生徒一人ひとりの状況や学級の状況を多面的に分析することができた。
- ・ 結果分析を校内の支援委員会や生活指導部会で共通理解することができ、支援を要する児童・生徒へ対策を組織的に取り組むことができた。
- ・ 個人票を保護者との面接時に活用することで、家庭と連携しながら改善策を立てることができた。

課題

- ・ 調査結果を十分に活用できなかったと感じている学校があった。
- ・ 児童・生徒が調査に慣れてしまい、回答状況が適当になっている児童・生徒がいる。

- ・ 今年度も私費負担で年2回実施している学校が約半数ある。調査結果を学級経営等に生かし、その後の児童・生徒や学級の変容を再確認していくことが効果的であった。
- ・ 結果を受け検討した手立てを実践した後の児童・生徒の実態や学級の状態を知り、さらに指導に生かしたいという学校が多く、小学校で6割、中学校で8割の学校が年2回実施を希望している。



全校公費負担による2回実施に向け予算措置を行った。

文教委員会報告資料

令和2年3月13日

件名	「令和元年度第2回学校生活及びいじめに関するアンケート調査」報告について									
所管部課名	教育指導部教育指導課									
内容	<p>令和元年度第2回学校生活及びいじめに関するアンケートの集計結果について、概要を下記のとおり報告する。詳細は別紙のとおりである。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 アンケート実施期間 令和元年11月1日～30日において各学校が定めた期間</p> <p>2 対象 全区立小中学校 全児童・生徒</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>調査回答数</td> <td>小学校</td> <td>31,174名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>中学校</td> <td>12,946名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>44,120名</td> </tr> </table> <p>3 アンケート実施方法 児童・生徒が家庭にアンケート用紙を持ち帰り記入した後、専用の封筒で学校に提出する。</p> <p>4 結果概要（主要項目の前回調査6月との比較）※P17参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「相談できる人がいる」 99.0%（+0.5ポイント） ・ 「冷やかし、からかい、悪口を言われた。」 3,753件（-184件） ・ 「今、いじめられている」 497件（-19件） ・ 未提出数 478件（+166件） <p>※全体結果については別紙2（P18）のとおり。</p> <p>5 アンケート結果から見える取り組みと成果</p> <p>（1）いじめ防止の取組</p> <p>ア SOSの出し方に関する授業について、5、6年生で1回、中学生で1回、DVDや保健師等を活用した授業を行っている。</p> <p>イ 年に3回、自宅で保護者と相談して、学校生活及びいじめに関するアンケートを記入する。</p>	調査回答数	小学校	31,174名		中学校	12,946名		計	44,120名
調査回答数	小学校	31,174名								
	中学校	12,946名								
	計	44,120名								

- ウ 法に基づく「いじめ」の定義を周知徹底する。
- エ 認知したいじめを一覧化して、全教員間で共有する。

(2) 取り組みの成果に関する考察（前回調査6月との比較）

- ア 「相談できる人がいる」児童・生徒の割合の増加
 - (ア) 友人への相談が増加
 - (小学校+3.2P、中学校+1.3P、計+2.5P)
 - (イ) 小学校は先生への相談が増加。
 - (小学校+1.2P、中学校-0.1P、計+0.8P)
- SOSを出すことに対し肯定的となり、ためらわずに相談をすることができるようになってきている。
- 進級、進学による人間関係の変化に慣れてきて、友人との関係が安定してきている。結果、児童・生徒が友人に相談したり、先生への相談を勧めたりする件数が増えている。

- イ 「冷やかし」「からかい」「悪口を言われた」の件数の減少
 - いじめ行為に対する児童・生徒の認識が高まり、いじめ行為に関する抑制的な効果が生まれつつある。

- ウ 「今、いじめられている」件数の減少
 - 児童・生徒が教員にいじめを訴えやすい環境づくりや、いじめの早期発見・早期対応を進めてきたことで、児童・生徒のいじめに対する認知が以前よりも高まっている。

- エ 未回答数は増加
 - 校長会・生活指導担当者等に、全員実施・全員回収の原則が浸透してきているが、児童・生徒の不登校数が増加している。

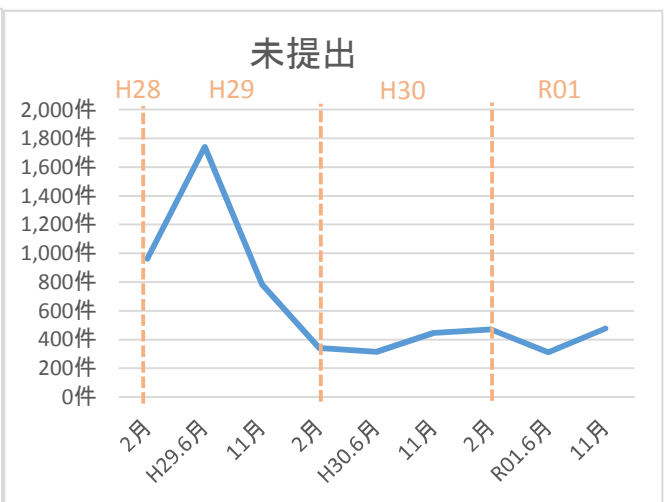
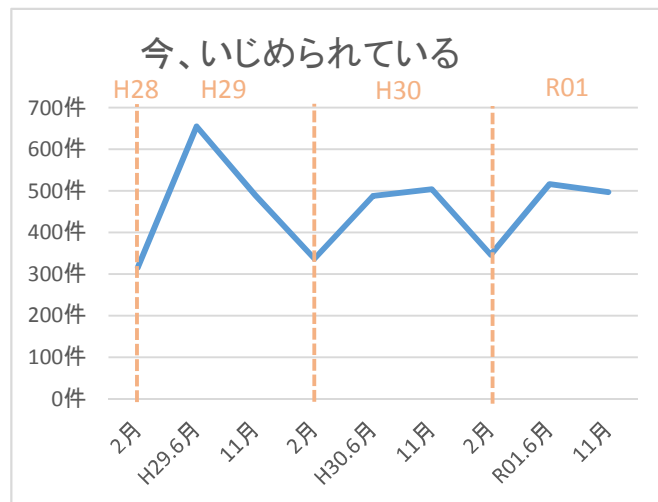
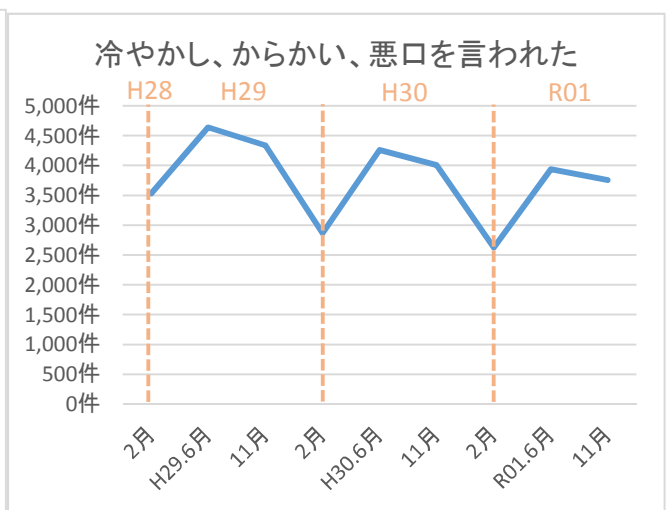
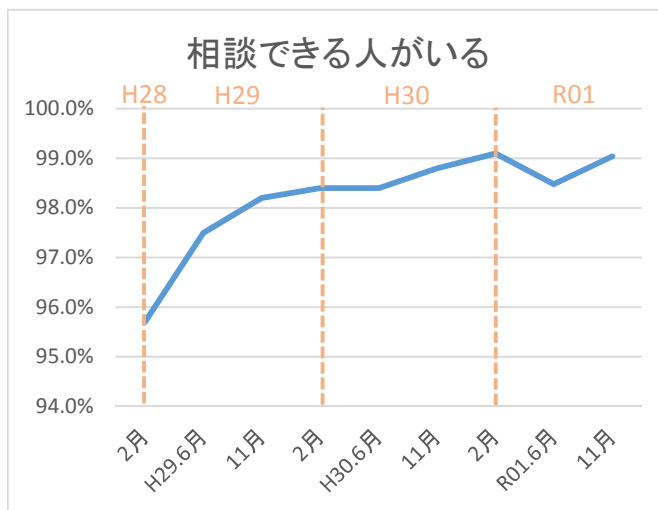
6 委員会での意見

- ・ 不登校の子どもについては、子どもに定期的に会って様子を把握する必要がある。警察や福祉分野とも連携をしながら進めていくべきである。
- ・ いじめがあったことを認めてほしい母に対して、いじめを認定する事実がないと話をしてもらっても納得してもらえない。子どもの成長で母との関係に変化があったときにチャンスである。
- ・ 携帯電話を持つことで事件になる恐れがあることが理解しづ

	<p>らい。実際に事件に発展した事例などをあげ、子どもに対して自分事として考えられるよう指導をするべきである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 担任の初期対応は大切だと思う。担任をはずせばその場は解決したように見えるが、子どもにとっては担任が代わることは良い状況を生まない。 ・ 委員会で多くの議論をしているが、このことを学校にも情報共有してほしい。 ・ いじめがあった時に、いじめだけの指導をするのではなく、学級や学年全体を通して、組織的な視点からいじめの構造を振り返らないといけない。
<p>問題点 今後の方針</p>	<p>毎月提出される「いじめ一覧表」「いじめの個表」を確認することで、学校のいじめの対応状況を把握し、必要に応じて学校に指導を入れる。1月の生活指導連絡会では大学教授によるいじめの事例や対応を紹介する研修を開催するなど、教員のいじめ対応力を強化していくとともに、いじめ等問題対策委員の意見を踏まえ、早期発見、初期対応を確実にを行うよう、学校に指導をしていく。</p>

【いじめに関するアンケート調査結果（経年）】

	平成28年度	平成29年度			平成30年度			令和元年度	
	2月	H29.6月	11月	2月	H30.6月	11月	2月	R01.6月	11月
相談できる人がいる	95.7%	97.5%	98.2%	98.4%	98.4%	98.8%	99.1%	98.5%	99.0%
冷やかし、からかい、悪口を言われた	3,529件	4,640件	4,340件	2,864件	4,261件	4,010件	2,625件	3,937件	3,753件
今、いじめられている	316件	655件	489件	337件	488件	504件	346件	516件	497件
未提出	963件	1,740件	784件	342件	314件	446件	470件	312件	478件



令和元年度いじめに関するアンケート調査結果（第2回：R01.11月）

基礎情報	小学校			中学校			合計		
	H30.11月	R01.6月	R01.11月	H30.11月	R01.6月	R01.11月	H30.11月	R01.6月	R01.11月
在籍数	31,582人	31,374人	31,304人	13,356人	13,280人	13,294人	44,938人	44,654人	44,598人
調査回答数	31,466人	31,282人	31,174人	13,026人	13,060人	12,946人	44,492人	44,342人	44,120人
回答率	99.6%	99.7%	99.6%	97.5%	98.3%	97.4%	99.0%	99.3%	98.9%
未回収数	116	92	130	330	220	348	446	312	478
前回未回収数	109	146	92	205	324	220	314	470	312

結果（回答件数）

調査項目	小学校			中学校			合計			
	H30.11月	R01.6月	R01.11月	H30.11月	R01.6月	R01.11月	H30.11月	R01.6月	R01.11月	
1 相談できる人がいる	99.2%	98.6%	99.3%	97.9%	98.1%	98.4%	98.8%	98.5%	99.0%	
内訳 複数 回答	家の人	91.5%	91.0%	91.1%	79.4%	81.1%	79.2%	87.9%	88.1%	87.6%
	先生	62.1%	62.1%	63.3%	46.7%	49.4%	49.3%	57.6%	58.4%	59.2%
	友人	57.9%	54.1%	57.3%	77.4%	75.3%	76.6%	63.6%	60.4%	62.9%
	SC	13.0%	12.6%	13.5%	17.8%	20.7%	19.5%	14.4%	15.0%	15.3%
	その他	4.5%	5.6%	4.3%	3.5%	3.8%	3.8%	4.2%	5.1%	4.1%
<p>上記の「家の人」は、兄弟・祖父母・いとこや親類等同居の場合も含む。 「その他」で記載された人物等の傾向について 習い事の先生、近隣の大人、医者（臨床心理士）、デイサービス、げんきの相談員、電話相談の人、児相の人、ペット（小10、中12）、ぬいぐるみ（小2、中2）、ネット等の友達・知り合い（小1中14） 小学校のみ：学童等の先生（教員以外の学校に関わる大人）、児童館の職員 中学校のみ：恋人、自分自身、いじめホットライン</p>										
2 冷やかし、からかい、悪口を言われた	11.7% (3683)	11.7% (3668)	11.2% (3477)	2.5% (327)	2.1% (269)	2.1% (276)	9.0% (4010)	8.9% (3937)	8.5% (3753)	
3 仲間はずれ、無視	5.5% (1715)	4.5% (1408)	4.8% (1490)	0.7% (94)	0.5% (71)	0.6% (78)	4.1% (1809)	3.3% (1479)	3.6% (1568)	
4 軽くぶつかる、叩かれる、蹴られる	3.5% (1089)	3.5% (1080)	3.2% (993)	1.0% (128)	0.9% (116)	0.9% (122)	2.7% (1217)	2.7% (1196)	2.5% (1115)	
5 ひどく叩かれる、蹴られる	2.6% (814)	2.5% (781)	2.3% (721)	0.3% (37)	0.2% (32)	0.4% (51)	1.9% (851)	1.8% (813)	1.7% (772)	
<p>主な内容例 ・自慢されたことに腹を立て、暴言を言われ、ぶたれた。・掃除のときにほうきで叩かれた。・高学年の児童に横からタックルされた。・傘で突かれた。・コミュニケーションが過剰。・自分が友達をあおったり、馬鹿にしたりするような言葉を言ったところ、多くの児童にたたかれたり、蹴られたりした。・戦いごっこの最中殴られた。・掃除中言い合いになり、モップで叩かれた。・他人の筆箱を机の上に置かれ、言い返したら平手で耳の上を叩かれた。・ふざけの延長で叩かれる。・部活動の先輩が怒鳴ったり暴れたりする。・ボディタッチが強く、頻度が多いと感じている。</p>										
6 お金を取られる、隠される	0.1%未満 (30)	0.1%未満 (21)	0.1%未満 (26)	0.1%未満 (6)	0.1%未満 (4)	0.1%未満 (1)	0.1%未満 (36)	0.1%未満 (25)	0.1%未満 (27)	
<p>主な内容例 ・公園で自転車のカゴに財布の入ったバッグを置いておいたら100円なくなった。・お菓子を買ってくれとしつこく言われおごった。・「北千住に行くから8000円持ってこい」と言われた。・一方的におごられ、「今度は奢って」と言われて困っている。・「写真集を折られた弁償しろ」と言われ、1500円払った。・集金袋に入っていたお金がなくなり、次の日防災頭巾から出てきた。・本人が周囲の友人に奢っているが、被害として訴え出た。・同級生にお金を返してもらえない。</p>										

7	物をとられる、隠される	2.7% (851)	2.4% (762)	2.8% (884)	0.6% (74)	0.6% (82)	0.8% (102)	2.1% (925)	1.9% (844)	2.2% (986)
8	嫌なことをされる、させられる	1.7% (549)	1.8% (576)	1.9% (606)	0.4% (51)	0.5% (62)	0.4% (47)	1.4% (600)	1.4% (638)	1.5% (653)
9	パソコンやスマホ、携帯での嫌がらせ	0.2% (77)	0.2% (71)	0.3% (87)	0.4% (51)	0.3% (45)	0.4% (47)	0.3% (128)	0.3% (116)	0.3% (134)
10	他のことでいじめられた	0.9% (278)	0.9% (285)	0.8% (238)	0.1% (11)	0.2% (21)	0.1% (17)	0.7% (289)	0.7% (306)	0.6% (255)
主な内容例 ・鉛筆を貸したが、返してくれない。・LINEで悩み相談を受け、自分の味方をしてくれないことに腹を立てられて嫌だった。・けんかの仲裁に入って嘔まれた。・鍵盤ハーモニカの口が机についた。・下校中に下校コースを外れてしつこく会話してくる。・上履きや靴をずらされる。・強がりを言っているので無視すると独り言が始まり不愉快。										
11	友達がいじめられているのを見た	7.6% (2400)	6.9% (2170)	7.1% (2222)	1.1% (146)	1.0% (135)	1.4% (184)	5.7% (2546)	5.2% (2305)	5.5% (2406)
12	今、いじめられている	1.5% (463)	1.5% (473)	1.3% (420)	0.3% (41)	0.3% (43)	0.6% (77)	1.1% (504)	1.2% (516)	1.1% (497)

未回収数の内訳

	小学校			中学校			合計		
	H30.11月	R01.6月	R01.11月	H30.11月	R01.6月	R01.11月	H30.11月	R01.6月	R01.11月
全員回収	29	31	28	3	3	2	32	34	30
1名	17	16	10	1	4	1	18	20	11
2名	6	10	9	2	4	0	8	14	9
5名以内	11	9	18	10	9	12	21	18	30
10名以内	6	3	4	7	9	8	13	12	12
11名以上	0	0	0	12	6	12	12	6	12
合計	69	69	69	35	35	35	104	104	104

未回収となった主な理由

	小学校			中学校			合計		
	H30.11月	R01.6月	R01.11月	H30.11月	R01.6月	R01.11月	H30.11月	R01.6月	R01.11月
学籍のみ	8	11	9	3	2	4	11	13	13
実施期間中に居住地以外に在住	10	6	9	3	0	1	13	6	10
児童相談所等に入所中	6	4	1	8	2	4	14	6	5
不登校であり、回収に至らなかった	70	53	82	305	203	305	375	256	387
不登校気味で、日常的に本人・保護者との面会が困難	6	2	2	2	6	12	8	8	14
本人・保護者の判断	5	6	14	3	0	5	8	6	19
病気（入院中も含む）	2	6	8	4	7	12	6	13	20
日本語による読解が困難な状況	6	2	3	1	0	1	7	2	4
拒否	3	2	2	1	0	4	4	2	6
合計	116	92	130	330	220	348	446	312	478

文教委員会報告資料

令和2年3月13日

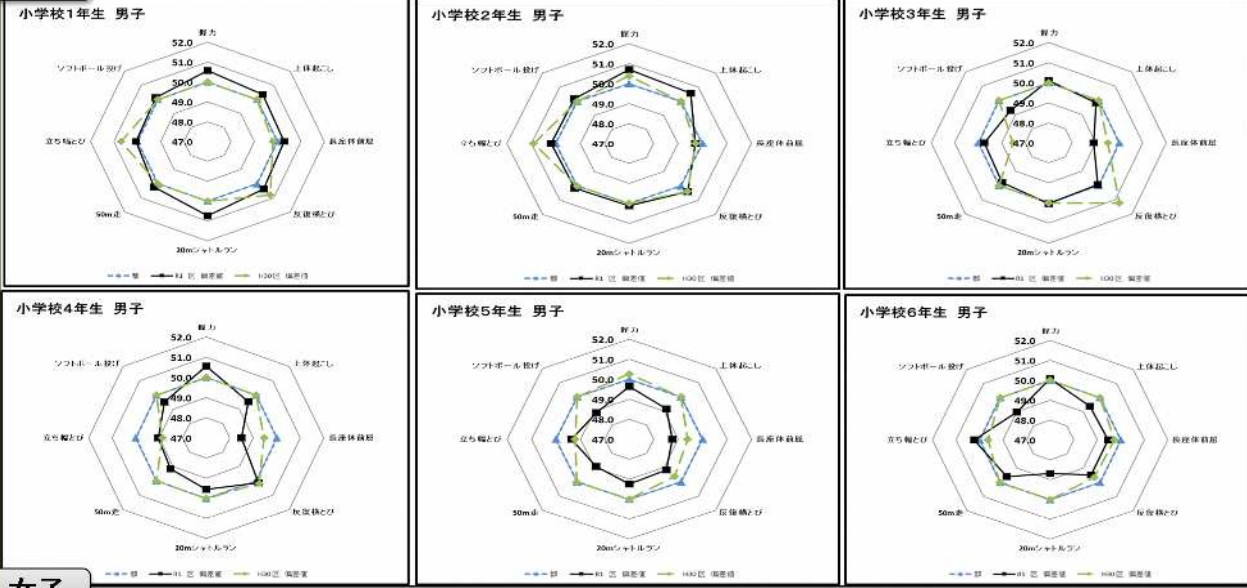
件名	令和元年度「東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」の結果（確定値）について
所管部課名	教育指導部教育指導課
内容	<p>1 調査対象及び実施期間 全児童・生徒が平成31年4月から令和元年6月までに実施</p> <p>2 調査種目（全8種目） ① 握力（筋力） ② 上体起こし（筋力・筋持久力） ③ 長座体前屈（柔軟性） ④ 反復横とび（敏捷性） ⑤ 20mシャトルラン・持久走（全身持久力） ⑥ 50m走（スピード） ⑦ 立ち幅とび（瞬発力） ⑧ ハンドボール（中学校）・ソフトボール（小学校）投げ （巧緻性・瞬発力） ※⑤については、小学校は20mシャトルランのみ、中学校はどちらかを選択して実施</p> <p>3 調査結果（東京都平均値を上回った項目数）【別紙1、2参照】 (1) 小学校 96項目中 50項目（昨年度35項目） (2) 中学校 54項目中 5項目（昨年度0項目）</p> <p>4 調査結果から得られた考察 (1) 小学校 ・ 東京都平均を上回った項目が増加したことから、体力・運動能力が全体的に向上している。 ・ 特に低学年で、投力を中心に改善傾向が顕著に見られる。 (2) 中学校 ・ ハンドボール投げについては結果が十分ではないものの、東京都平均との差は縮まっている。 ・ 東京都平均を上回った項目が増加したことから、投力向上の取り組みが日頃から体を動かす習慣づくりや体力向上に寄与していると考えられる。</p>

	<p>5 今後の体力向上に向けた取り組みについて 引き続き「投力向上」に軸足を置きながら、以下の取り組みを行っていく。</p> <p>(1) オリンピック・パラリンピック教育を通じた体力向上 スポーツ志向を中心にオリンピック・パラリンピック教育を推進し、スポーツへの多様な関わり方（する・見る・支える・知る）を児童・生徒に身に付けさせることで、運動の日常化を図る。</p> <p>(2) 足立区beyond2020 マイベストプログラム 本事業を通じ、児童・生徒が体力テストの結果を基にした目標を設け、その達成のために自らの工夫で運動習慣や生活習慣の改善に取り組んでいく。</p> <p>(3) 体育・保健体育科の授業改善 体育・保健体育科の学習内容と体力テストの調査項目を関連付け、体育・保健体育科の授業の中で体力の向上を図る。その実践内容を体力向上推進委員会で検討中であり、令和2年度から活用を始める予定である。</p> <p>(4) 区小研体育部・区中研保健体育部との連携 より一層体力向上と関連付けた授業改善の研究と普及が進むよう、区の体育・保健体育の授業改善を進める中心的な組織である標記団体との連携を強化する。</p>
<p>問題点 今後の方針</p>	<p>本区における児童・生徒の体力に関する課題や対策について、校長会、区小研、区中研等と共有・連携をさらに進め、課題解決に向けた継続性のある実践につなげていく。</p>

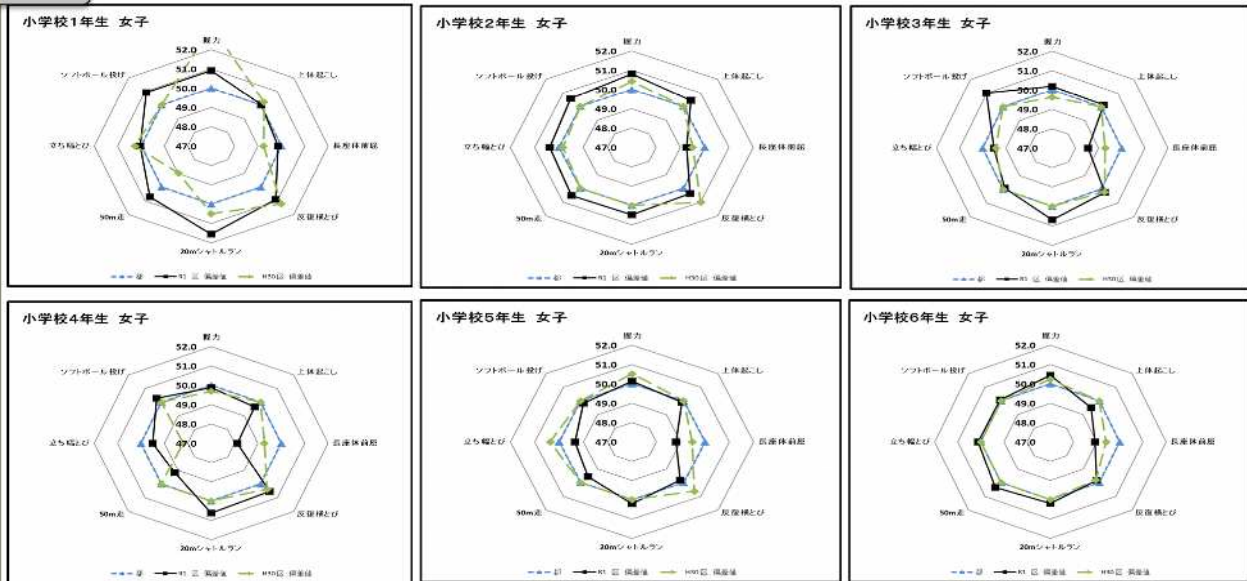
1 小学校の結果

(1) 体力・運動能力について(種目別)【東京都との比較】

男子



女子



総合評価が算出できない児童がいる都会上、合計が100%にならない場合がある

【調査項目(体力評価)】

- 握力(筋力)
- 長座体前屈(柔軟性)
- 反復横とび(敏捷性)
- 50m走(スピード)
- 上体起こし(筋力・筋持久力)
- 20mシャトルラン(全身持久力)
- ソフトボール投げ(巧緻性・瞬発力)
- 立ち幅跳び(瞬発力)

(2) 東京都との比較による傾向

全学年(6学年)×種目(8種目)×男女(2) = 96

東京都平均値と比較して 足立区平均値が
○都平均以上 ▼都平均未満

【平成29年度】 29 / 96 (30.2%)

学年	男子								女子							
	握力	上体	長座	反復	シャトル	50m走	立ち幅	ボール	握力	上体	長座	反復	シャトル	50m走	立ち幅	ボール
1年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2年	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3年	▼	▼	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4年	▼	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5年	▼	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6年	▼	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

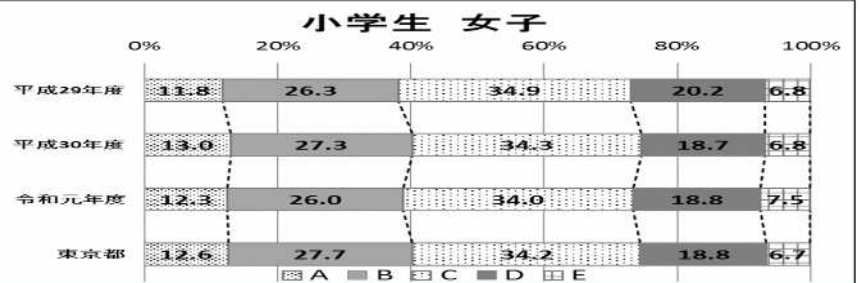
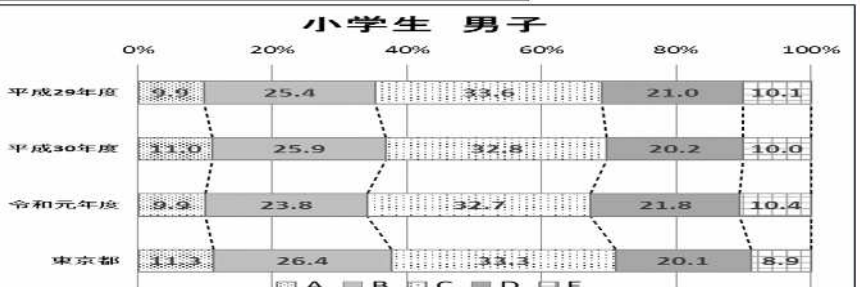
【平成30年度】 35 / 96 (36.4%)

学年	男子								女子							
	握力	上体	長座	反復	シャトル	50m走	立ち幅	ボール	握力	上体	長座	反復	シャトル	50m走	立ち幅	ボール
1年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【令和元年度】 50 / 96 (52.1%)

学年	男子								女子							
	握力	上体	長座	反復	シャトル	50m走	立ち幅	ボール	握力	上体	長座	反復	シャトル	50m走	立ち幅	ボール
1年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(3) 小学校 足立区3年間の総合評価の比較



2 中学校の結果

(1) 体力・運動能力について(項目別)【東京都との比較】

【調査項目(体力評価)】

- 握力(筋力)
- 長座体前屈(柔軟性)
- 反復横とび(敏捷性)
- 50m走(スピード)
- 上体起こし(筋力・筋持久力)
- 20mシャトルラン・持久走(全身持久力)
- ハンドボール投げ(巧緻性・瞬発力)
- 立ち幅跳び(瞬発力)

(2) 東京都との比較による傾向

全学年(3学年)×種目(9種目)×男女(2) = 54

東京都平均値と比較して 足立区平均値が
○都平均以上 ▼都平均未満

【平成29年度】 4/54 (7.4%)

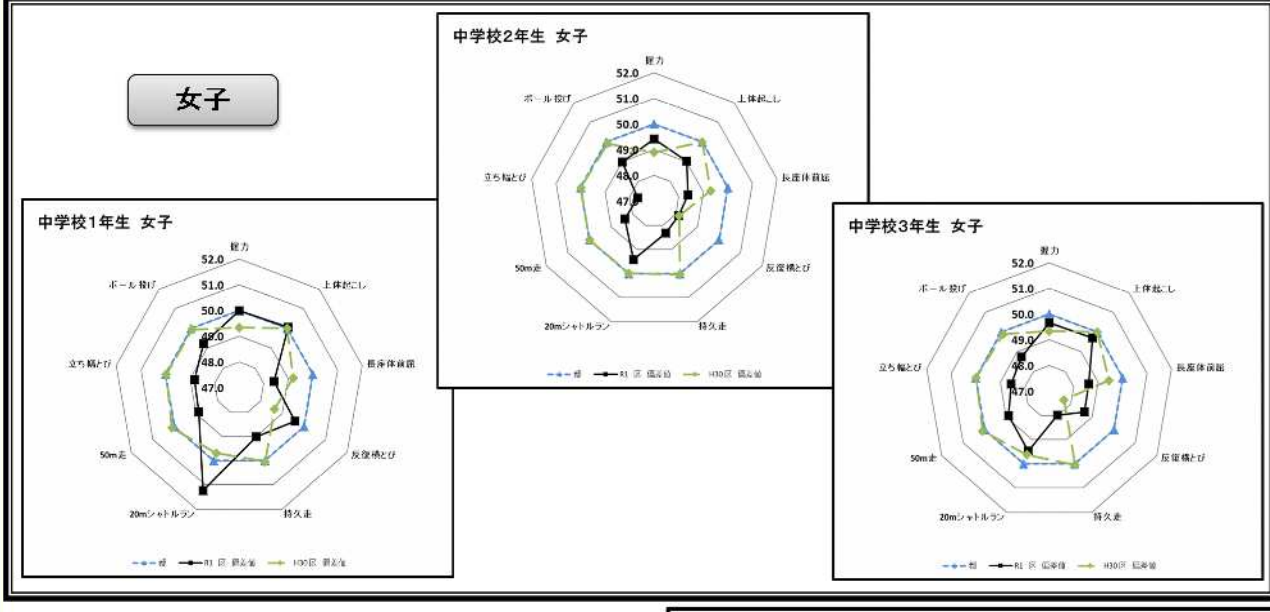
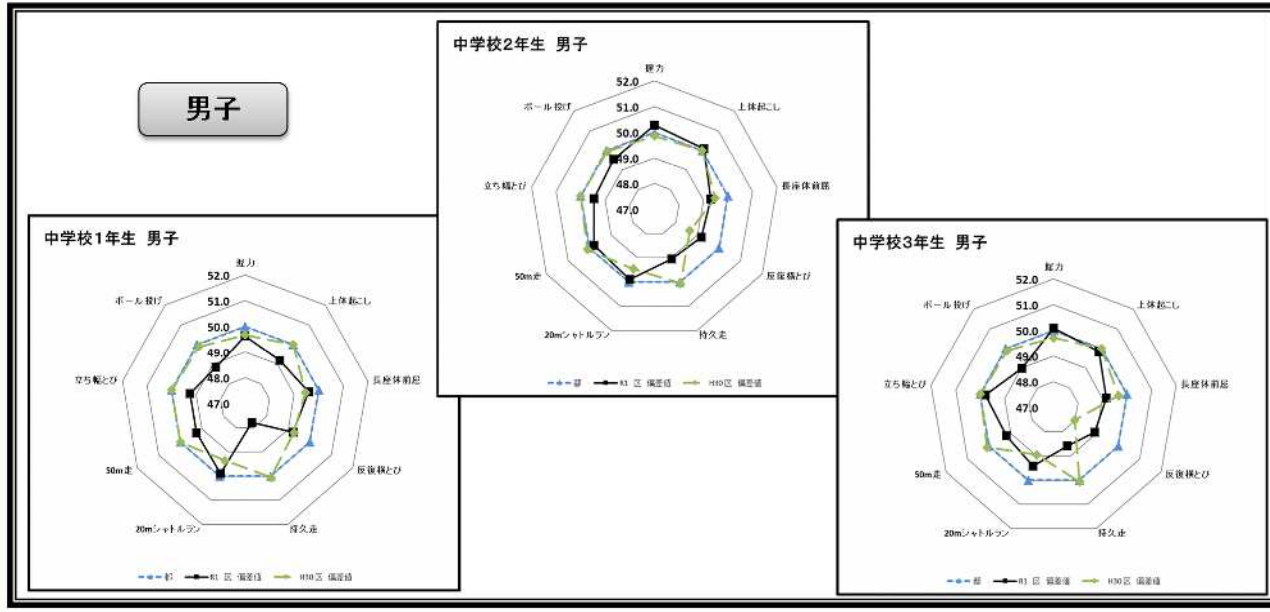
	男子								女子									
	握力	上体	長座	反復	シャトル	50m走	立ち幅	ボール	持久走	握力	上体	長座	反復	シャトル	50m走	立ち幅	ボール	持久走
1年	▼	▼	▼	▼	▼	○	▼	▼	▼	▼	○	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
2年	○	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
3年	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼

【平成30年度】 0/54 (0.0%)

	男子								女子									
	握力	上体	長座	反復	シャトル	50m走	立ち幅	ボール	持久走	握力	上体	長座	反復	シャトル	50m走	立ち幅	ボール	持久走
1年	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
2年	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
3年	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼

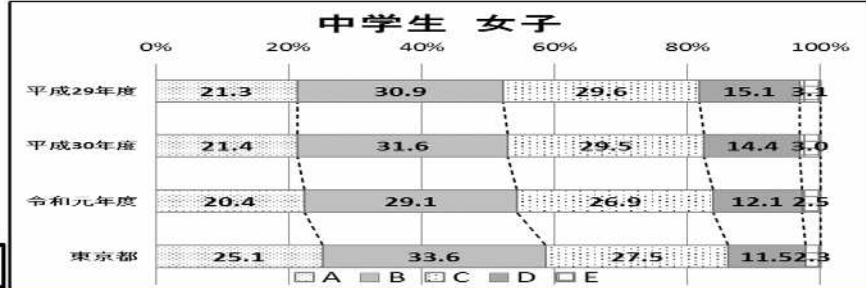
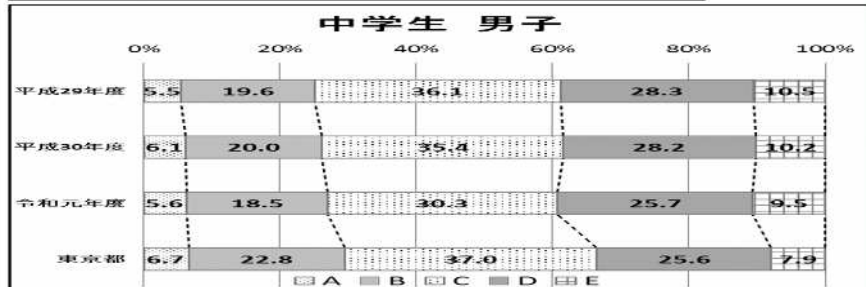
【令和元年度】 5/54 (9.3%)

	男子								女子									
	握力	上体	長座	反復	持久走	シャトル	50m走	立ち幅	ボール	握力	上体	長座	反復	持久走	シャトル	50m走	立ち幅	ボール
1年	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	○	▼	▼	▼	▼	○	▼	▼	▼
2年	○	○	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
3年	○	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼

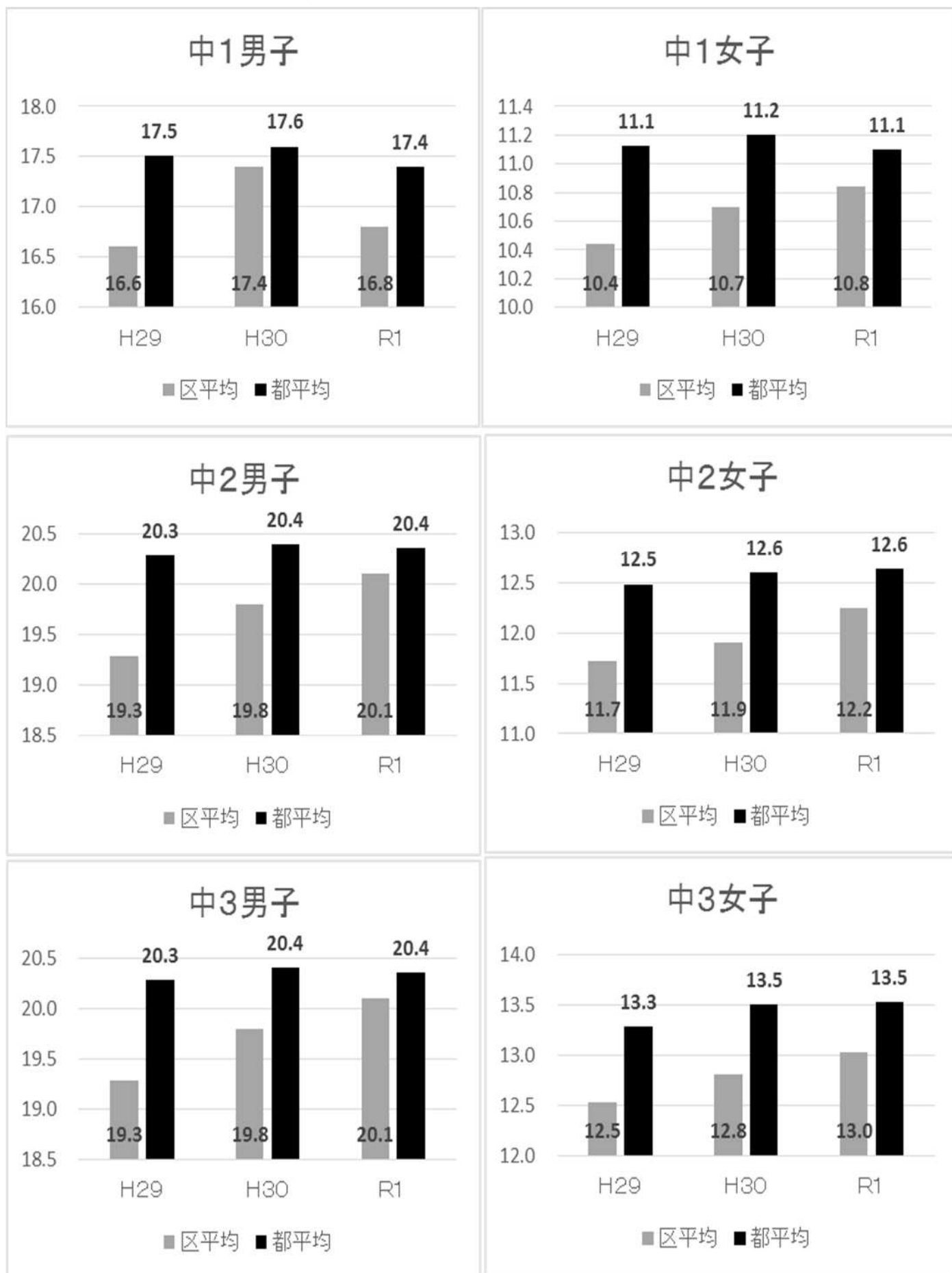


総合評価が算出できない生徒がいる都合上、合計が100%にならない場合がある

(3) 中学校 足立区3年間の総合評価の比較



中学校 ハンドボール投げ 学年別過去3年間比較



文 教 委 員 会 報 告 資 料

令和2年3月13日

件 名	「新・足立区放課後子ども総合プラン」の策定について
所 管 部 課 名	学校運営部学校支援課 地域のちから推進部住区推進課
内 容	<p>平成30年9月に文部科学省と厚生労働省が新たに策定した「新・放課後子ども総合プラン」を受け、「新・足立区放課後子ども総合プラン」（令和2年2月）を策定したので報告する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 区の新プランの概要【別冊資料 参照】</p> <p>(1) 名 称 「新・足立区放課後子ども総合プラン」</p> <p>(2) 計画期間 令和2年度から令和6年度まで（5年間）</p> <p>(3) 計画内容 ア 学童保育室と放課後子ども教室の整備目標 イ 学童保育室の年度ごとのニーズ見込みと確保方策 ウ 学童保育室と放課後子ども教室の一体的実施と連携強化 等</p> <p>2 パブリックコメントの実施結果及び区の考え方【資料P5・P55】</p> <p>(1) 実施期間 令和元年11月1日から11月30日まで</p> <p>(2) 意見提出者数 116名</p> <p>(3) 主な意見・要望等 24項目 ア 民間学童保育室への補助・支援（113名、全体の97%） イ 午後7時まで開所の学童保育室拡大（6名） ウ 放課後子ども教室の全校全学年実施（1名） エ 区立公園の見守り人員の配置（1名）</p>
問 題 点 今 後 の 方 針	学童保育室と放課後子ども教室の整備等については、本プランに基づき進行管理を進めていく。

文 教 委 員 会 報 告 資 料

令和2年3月13日

件 名	「足立区立学校における教員の働き方改革実施方針」の効果検証について
所 管 部 課 名	学校運営部 学校支援課、学務課 教育指導部 教育指導課
内 容	<p>令和元年11月に実施した教員の業務負担状況調査の結果がまとまったので、下記のとおり報告する。</p> <p>1 教員の業務負担状況調査(資料1～5)</p> <p>(1) 調査結果集計対象職員 教員(教育管理職含む)</p> <p>(2) 調査期間 令和元年10月24日～11月14日</p> <p>(3) 調査の目的 教員の業務負担感を軽減するため、昨年4月から実施している働き方改革のため、以下の7つの方策の効果検証と、平成29年度に実施した負担状況調査との比較。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 夜間等、時間外の電話への自動音声応答機器設置 ② 私費会計事務を担当する非常勤職員の配置 ③ 重複調査の防止 ④ 部活動指導員の配置 ⑤ 一斉退校日の設定 ⑥ 出退勤時刻記録用の出退勤システム導入 ⑦ 副校長の業務支援のための人材配置 <p>(4) 調査結果概要</p> <p>ア 教員の働き方改革のための7つの方策についての効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 時間外の電話対応(自動音声応答)が最も効果が高い。 ・ 私費会計処理のための非常勤職員配置の効果は大きい。 ・ 重複調査の防止は4割以上が効果ありと回答するが、依然負担感は大きい。 ・ 全教員の定時一斉退校は不徹底。 <p>イ 前回(H29)調査との比較</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7つの方策の内、負担の大小の設問に反映される4項目(時間外電話自動音声応答・私費会計・重複調査防止・部活動指導員)については、全て負担は減っている。 ・ 授業や授業準備等、教員本来業務の負担が増えている。

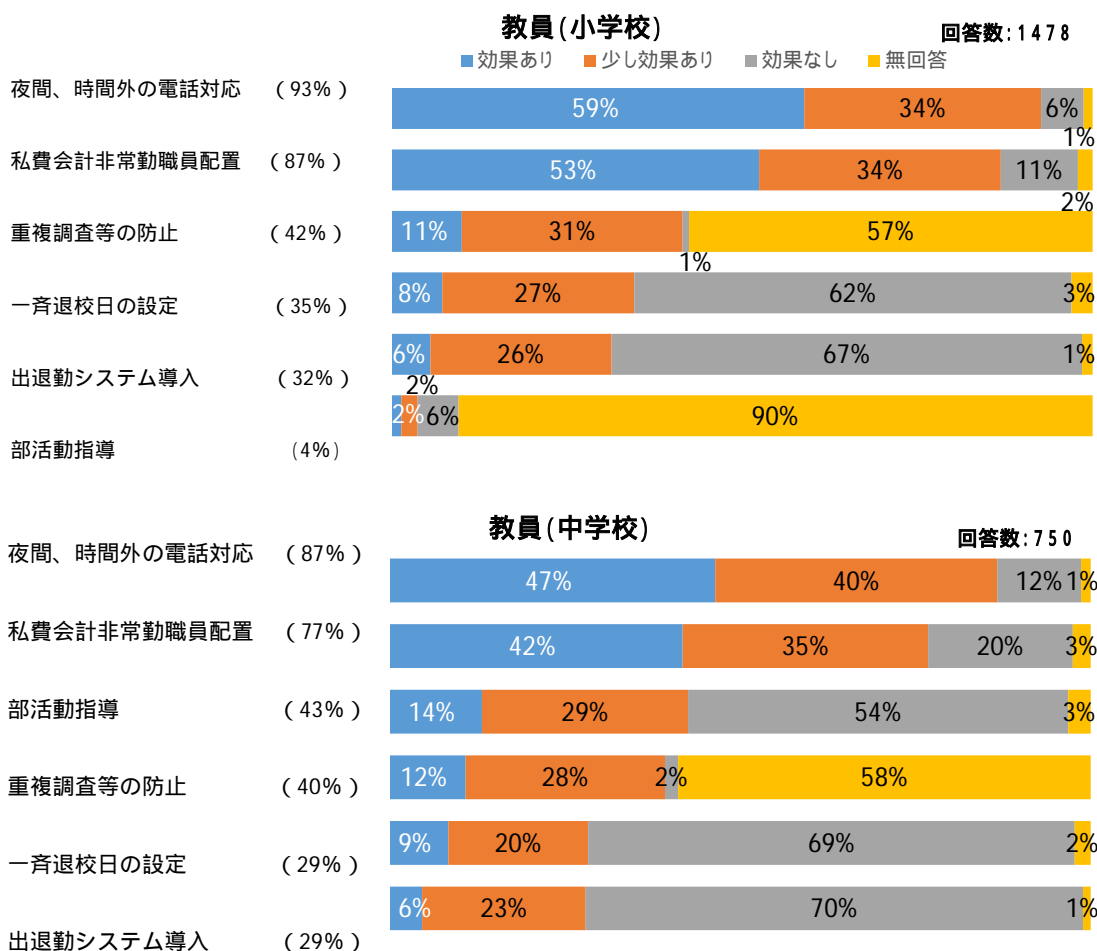
	<p>ウ 私費会計業務負担感の学校間差の分析結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 負担の大小と就学援助率高低に相関はないと思われる。 ・ 教材費の現金徴収は負担感の要因の一つと思われる。 <p>エ 各種調査の削減状況と負担感の関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員半数以上が無回答。調査担当ではないと思われる。 ・ 調査件数は減少したが、依然負担に感じている。 ・ 調査自体が複雑化し、困難な調査が増えている。 <p>オ 中学校部活動指導員の配置状況と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 希望どおりの指導員配置校は教員の負担が減った。 ・ 学校の希望種目の指導員の確保が困難。 <p>2 超過勤務時間の集計結果と学校間差の分析結果(資料6・7)</p> <p>(1) 集計結果</p> <p>超過勤務時間数が月80時間を超える教員比率は、全国平均を大きく下回っているが、月100時間を超える超過勤務を行っている教員も4か月間の平均で60人程度(2.2%)いるため、医師面談勸奨や管理職からの指導・助言等、長時間在校解消を図る必要がある。</p> <p>(2) 学校間での超過勤務時間数の差の分析</p> <p>学校ごとの平均超過勤務時間数の長短と児童・生徒数、また経験年数の浅い教員比率との関係については、明確な相関は見られなかった。</p> <p>3 総合教育会議(令和2年1月30日)での教育委員の意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 夜間等時間外の電話対応への対策は、精神面でも効果大。 ・ 教科指導専門員への時間外の相談時間を確保できないか。 ・ 部活動指導の配置は、各校1名以上に増員できないか。 ・ 働き方改革を口実に地域との関りを減らす動きが一部にある。 ・ 働き方に関する考え方が、日本と米国は大きく異なるので、長いスパンで考えるべき。
<p>問題点 今後の方針</p>	<p>今後も教員の超過勤務縮減のため、7つの方策推進の他、保護者対応等、困難事例に対する法的支援拡充についても検討していく。</p>

「令和元年11月実施の教員の業務負担状況調査」における働き方改革7つの方策の効果について

調査結果概要

- 1 夜間、時間外の電話対応(自動音声応答)が最も効果が高いと答えている。
 【分析結果・課題】 保護者等との対応減で、授業準備時間等の確保が図られている模様。
 【解決策等】 夜間・休日の区代表電話への入電件数も減少していることから、保護者・地域へは浸透していると思われる。機会を捉えた情報発信の継続が必要。
- 2 4割以上が重複調査の防止の効果があると答えているが、依然負担感は大きい。
 【分析結果・課題】 今年度減少させた調査件数では不十分と考えていると思われる。
 【解決策等】 教育委員会事務局内での調査の減についての再検討が必要。
- 3 全教員の一齐退校は不徹底。
 【分析結果・課題】 部活動等で実態上、難しい。
 【解決策等】 各自での定時退校日設定や部活動ガイドラインの徹底。
- 4 出退勤システムの導入の効果は薄い。
 【分析結果・課題】 在校時間の見える化による教員自身の時短への意識改革が主目的のため、直接的な時短効果がないことは想定内。
 【解決策等】 長時間在校を各教員と管理職に明示し、意識改革を図る。

7つの方策に対する効果の有無

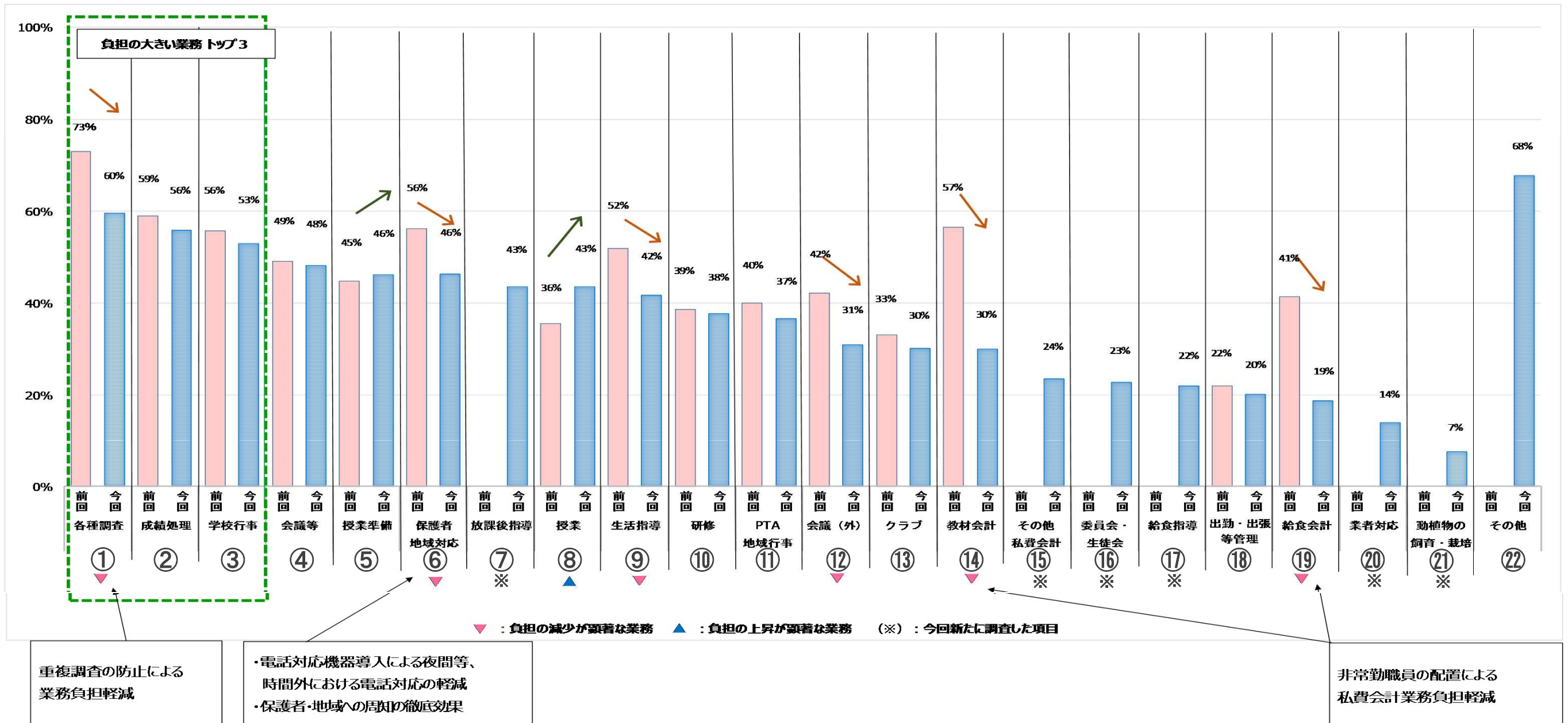


「副校長の業務支援のための人材配置」については、亀田小学校、蒲原中学校のみへの設置のため、調査未実施。

「令和元年11月実施の教員の業務負担状況調査」結果の前回(平成29年11月)調査との比較
「負担が大きい・やや負担がある」を抜粋

調査結果概要

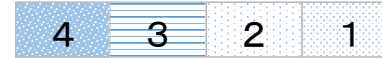
- 全体的に負担感は減少。特に「私費会計」に関する負担感は大きく減少。
【分析結果・課題】 専門非常勤職員を各校、週1日配置した効果。
【解決策等】 学校別の負担感の多少による配置日数の調整と模範的な他校の状況の周知が必要。
- 「各種調査」は、負担感は大きいとの回答は多いが、全体的には減少。
【分析結果・課題】 調査項目のデータベース化と調査自体の見直しによる件数減が寄与。
【解決策等】 調査自体の必要性の再度の見直しと調査の統合等の不断の検討
- 「授業」と「授業準備」の負担感が増加。
【分析結果・課題】 負担が減った分、本来業務の授業関連に労力振向けが可能となった。
ICT教育や学習指導要領の改訂による負担増。
有識者の発言でも、現在は授業や授業準備が負担増となっているとのことで、教員定数の見直しなど人員増を望む声大きい。
【解決策等】 教科指導専門員の一層の活用と複数教員による教材研究の分担。



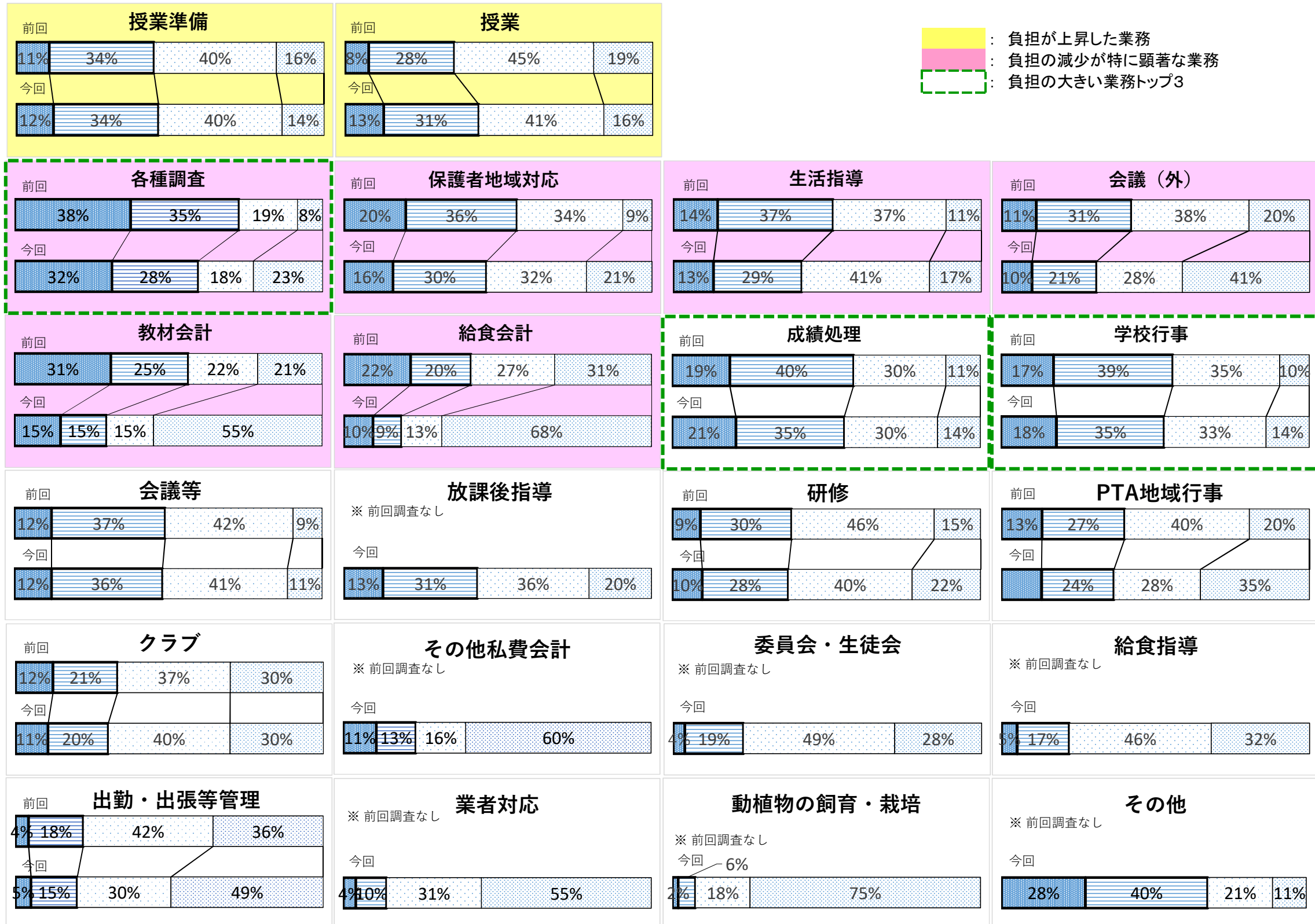
「令和元年11月実施の教員の業務負担状況調査」結果の前回（平成29年11月）調査との詳細比較 小・中学校計

4：負担が大きい 3：やや負担がある 2：あまり負担を感じない 1：負担を感じない

回答数：2253



: 負担が上昇した業務
 : 負担の減少が特に顕著な業務
 : 負担の大きい業務トップ3



給食会計・教材会計についての業務負担(学校別)

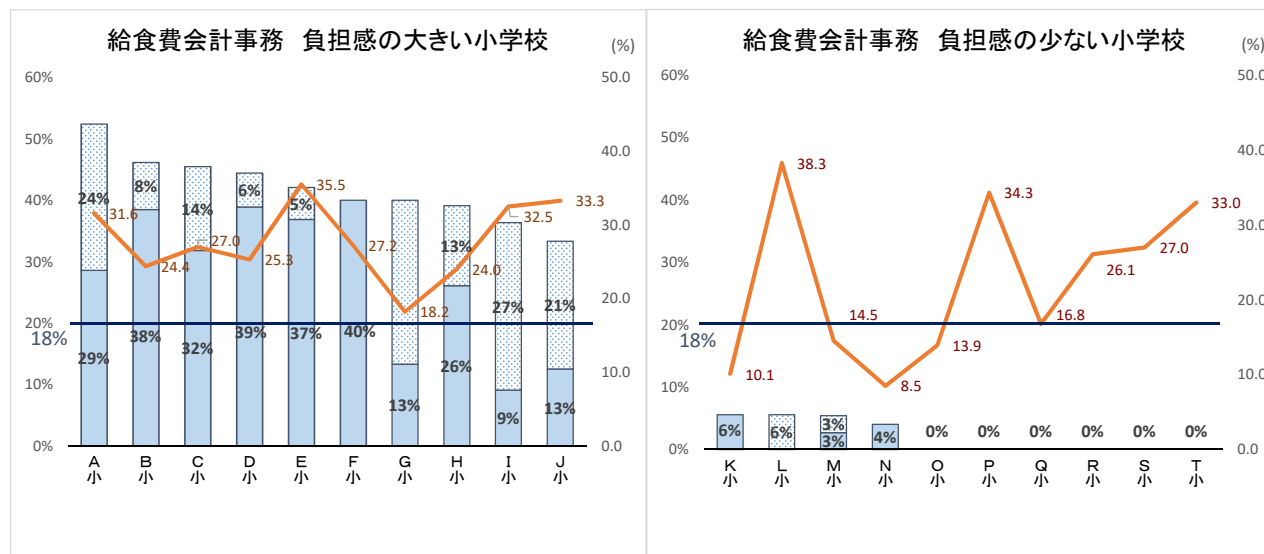
調査結果概要

「私費会計の負担感が大きい」と答えた教員の比率の大きい学校と小さい学校の就学援助率と徴収金現金徴収の有無との相関を検証した。

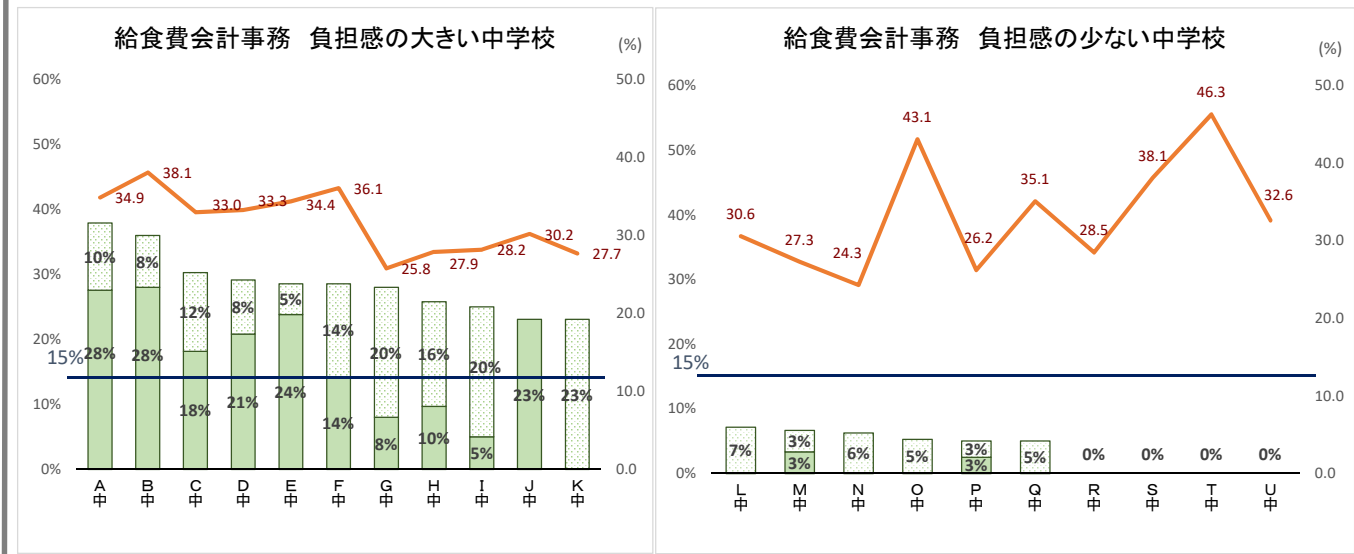
【分析結果・課題】「負担が大きい」と答えた小学校の上位11校中、現金徴収校は7校で、負担の要因の一つと考えられる。就学援助比率については、負担感と顕著な相関関係があるとは考えにくい。

【解決策等】 徴収金の口座引き落としの徹底と、非常勤職員の配置日数の調整や、日数増の検討。

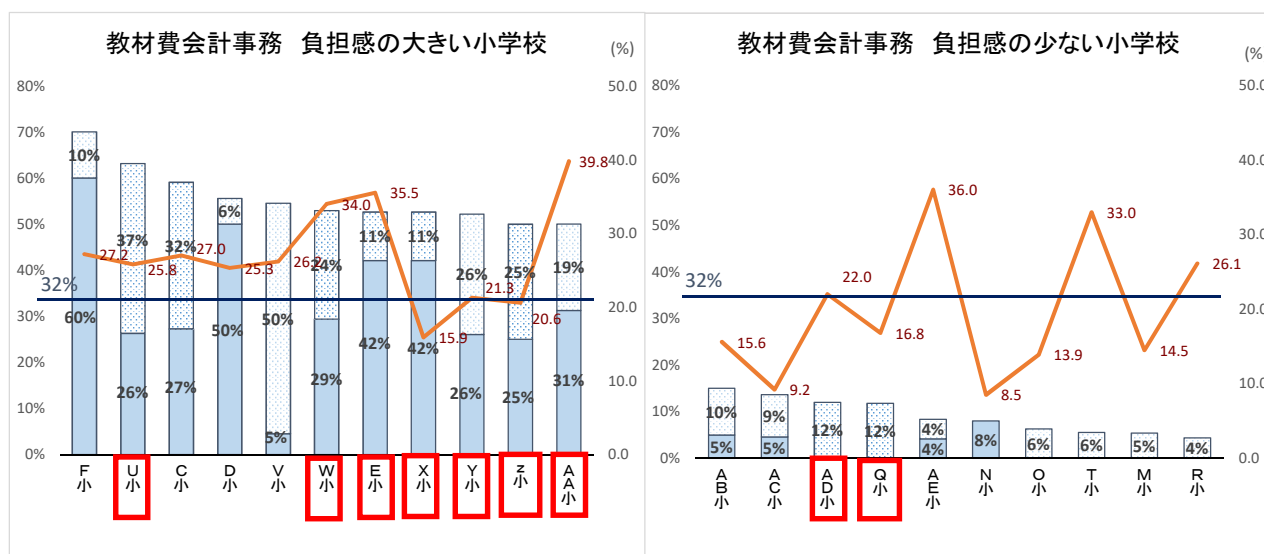
【給食費 小学校】



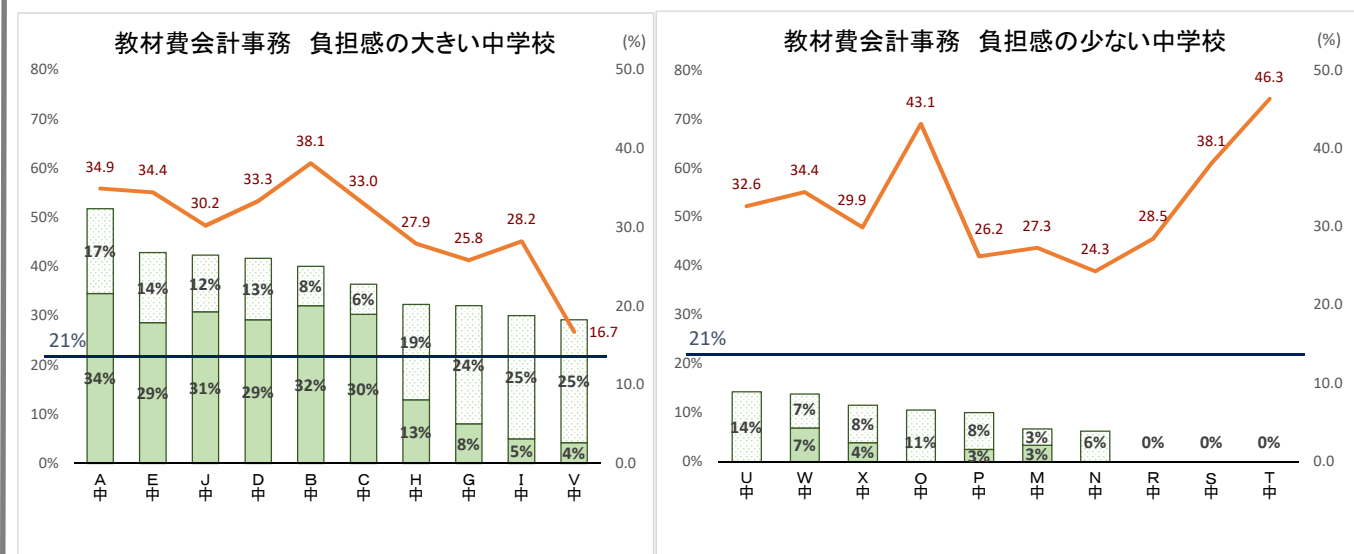
【給食費 中学校】



【教材費 小学校】



【教材費 中学校】



■ : 「4: 負担感が大きい」と回答した割合
 ■ : 「3や負担がある」と回答した割合
 — : 「4」「3」と回答した全校の平均値
 — : 4のうち現金徴収(教材費)の小学校
 — : 就学援助率

■ : 「4: 負担感が大きい」と回答した割合
 ■ : 「3や負担がある」と回答した割合
 — : 「4」「3」と回答した全校の平均値
 — : 就学援助率

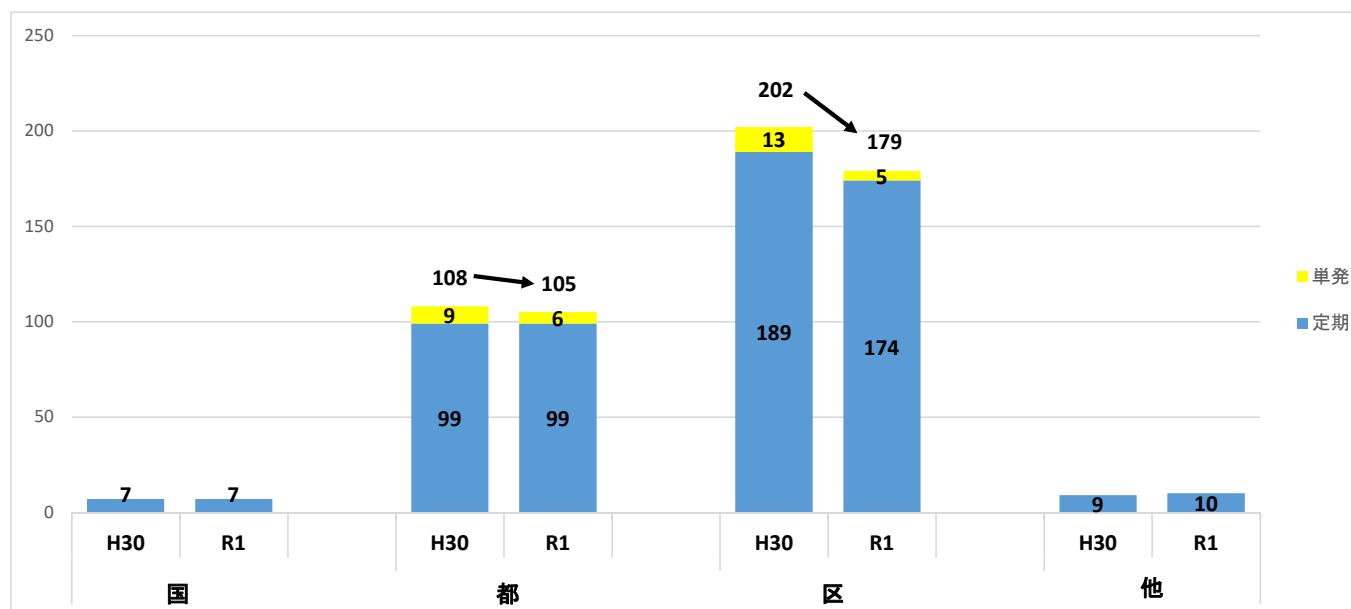
学校に対する調査件数について（調査主体別）

調査結果概要

学校に対する調査件数は、総体として減っており、特に区からの調査件数は大幅に減となったが、教員自身の感覚では多いと感じている。一方、半数以上の教員が無回答であることから、実際に調査に携わっている教員は半数以下と推測される。

【分析結果・課題】 資料4-2の調査の 카테고리別集計で、所在不明者の調査など、調査自体に時間を要する調査が増えていることが、負担感が劇的に改善されない要因の一つ。

【解決策等】 調査の見直し徹底や、データベース化した調査件名・キーワード検索等を容易にするとともに、設問の文言の整理等、調査内容をわかりやすく改善する。



調査主体別（12月末現在における比較）

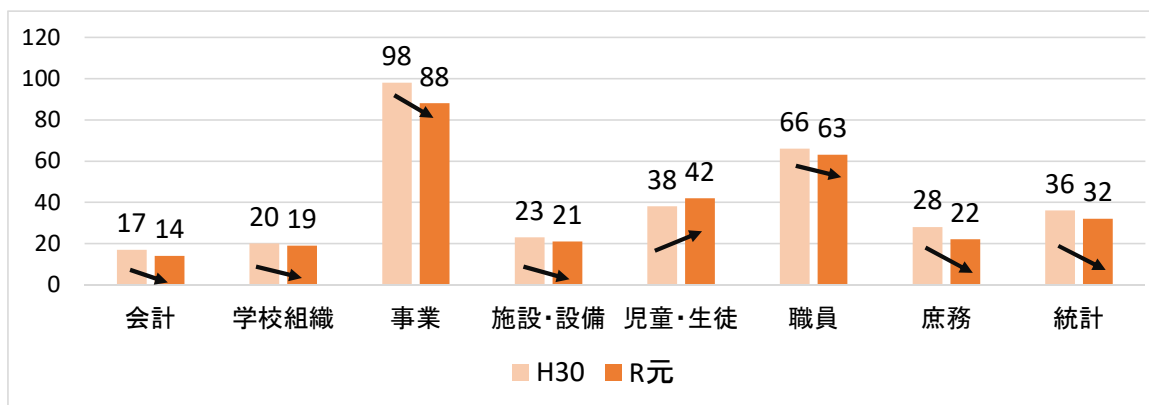
	H30		R元		H30⇒R元の増減				
	定期	単発	定期	単発	新規	統合等	廃止	30単発	計
国	7	0	7	0	0	0	0	0	0
都	99	9	99	6	8	0	▲2	▲9	▲3
区	189	13	174	5	10	▲11	▲9	▲13	▲23
他	9	0	10	0	1	0	0	0	1
小計	304	22	290	11	+19	▲11	▲11	▲22	▲25
合計	326		301 (▲25)						

【参考】年度トータルの推計件数

	H30(通年)		R元(1~3月予定含む)※	
	定期	単発	定期	単発
国	9	0	7	0
都	117	15	109	13
区	227	26	211	19
他	10	0	10	0
小計	363	41	337	32
合計	404		369 (▲35)	

※ R元年度は1月以降で調査が予定されているもののみカウント

学校に対する調査件数について（カテゴリー別）



カテゴリー別（12月末現在における比較）

	H30		R元		H30⇒R元の増減					調査の例
	定期	単発	定期	単発	新規	統合等	廃止	30単発	計	
会計	17	0	14	0	0	▲3	0	0	▲3	・小中連携教育事業における講師謝礼支払事務計画書の提出について(学定・定期) ・学校用文書保存箱の必要数量調査について(学支・定期)
学校組織	19	1	18	1	1	▲1	0	▲1	▲1	・学校経営支援組織の設置意向調査票(指導・定期) ・2020年度用中学校数学及び理科の補助教材の保有状況調査(指導・単発)【新】
事業	90	8	83	5	9	▲4	▲7	▲8	▲10	・通学路安全マップの調査(学務・定期) ・数学チャレンジ講座 参加者募集・集約について(学定・定期)
施設・設備	21	2	20	1	1	▲1	0	▲2	▲2	・学級数増加に伴う学校給食用消耗品不足調査について(学務・定期) ・プール使用開始日の調査について(施設・定期)
児童・生徒	36	2	40	2	6	0	0	▲2	4	・児童・生徒の春季休業日明けの状況把握のための調査(指導・定期) ・エビペンを携帯している児童・生徒等に関する調査について(学務・定期)
職員	64	2	62	1	1	0	▲2	▲2	▲3	・教員の業務負担状況調査(指導・単発)【新】 ・都費事務・栄養士の時間外勤務手当予算の執行状況調査について(学支・定期)
庶務	23	5	22	0	0	▲1	0	▲5	▲6	・制服リサイクル実施状況の確認について(学支・定期) ・東京都教育委員会表彰(健康づくり功労)候補者の推薦について(学務・定期)
統計	34	2	31	1	1	▲1	▲2	▲2	▲4	・夏季休業中のサマースクールの実施結果報告について(学定・定期) ・学級編制替え(クラス替え)に関する調査(学務・定期)
	304	22	290	11	19	▲11	▲11	▲22	▲25	

新規の例

- ①「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会における子供の競技観戦に係る最終意向調査」：(指導)
- ②「児童・生徒の春季(夏季・冬期)休業日明けの状況把握のための調査」：(げんき)

統合等の例

- ①「数学チャレンジ講座 参加者募集・集約」・「英語チャレンジ講座 参加生徒集約」： 同時に行った方が学校にとって参加者を調整しやすいため統合。(学定)
- ②「学級増、児童・生徒増に伴う必要物品調査」： 他課の調査データを活用して調査内容を縮減した。(学支)
- ③「学校給食用牛乳予定本数調査」・「食育リーダー研修会の開催及び食育リーダー設置状況調査」・「給食調理委託契約に伴う食数調査」： 調査内容を精査の上、統合した。(学務)

廃止の例

- ①「教育課程編成状況(特別支援学級等)に関する調査」・「特別支援教育に関する調査」： 学校に調査依頼をせず、所管課で作成・回答した。(げんき)
- ②「給食保存食用ビニール袋の必要数調査」： 全校一律配付とし、不足がある場合の個別対応とした。(学務)

調査結果概要

【分析結果・成果】

- ・希望通りの人材を配置できた学校については、教員の就労時間の削減につながり、部活動指導の質も高まっている。
- ・ホームページでの募集告知や体育協会との連携等とおして、年度途中で部活指導員を新たに採用することができた。

【課題】

- ・運動種目や学校のニーズに合った人材を確保する必要がある。

【課題への対応】

- ・足立区のホームページにて募集案内を掲載する。
- ・体育協会と連携し、各運動団体からの募集を募る。
- ・部活動指導員について「人材バンク」として名簿登載し、確保する。

1 部活動指導員について

足立区の非常勤職員、地方公務員法第3条第3項に基づく特別職。外部指導員の職務に加え、校長の命により、**大会等への引率**を行ったり、**教員がいない状態で指導**を行ったりすることができるなど、**業務内容を拡大するとともに責任も伴う者。**

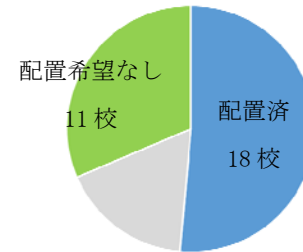
< 給与 > 時給1600円 年間538時間以内 週11～15時間程度
 < 採用予定 > 35名(1校1名を想定)

2 指導員の配置状況について(令和元年12月現在)

(1) 配置希望校数

中学校数	配置希望校	配置済校	未配置校
35校	24校	18校 ※1	6校

配置希望であるが、未配置6校
 ※1 1名配置が15校
 2名配置が3校



配置希望の学校は24校、希望をしない学校は11校であり、2極化が見られる。教員の人事異動によって年度ごとに配置希望の変更は推測されるが、希望しない学校の理由としては現配置の教員のみで対応できると判断したことなどが考えられる。

(2) 種目ごとの配置希望 ※学校別状況は、右表のとおり

	部活動名	配置希望	配置済の指導員数	未配置の指導員数
運動	バドミントン	6名	3名	3名
	サッカー	5名	4名	1名
	バスケットボール	5名	2名	3名
	バレーボール	3名	3名	
	柔道	3名	3名	
	ソフトテニス	2名		2名
	野球	3名	2名	1名
	陸上	1名	1名	
	剣道	1名	1名	
	卓球	1名		1名
文化	書写	1名	1名	
	吹奏楽	1名	1名	
	合計	32名	21名	11名

令和元年度 中学校別 部活動指導員(非常勤職員)人数

令和元年12月19日現在

番号	中学校名	希望	採用	未採用	指導員1	指導員2	指導員3
1	A	1	1	0	サッカー		
2	B	1	1	0	バスケット		
3	C	1	1	0	バドミントン		
4	D	0					
5	E	0					
6	F	0					
7	G	1	1	0	野球		
8	H	1	1	0	サッカー		
9	I	2	2	0	サッカー	バレー	
10	J	1	1	0	剣道		
11	K	0					
12	L	0					
13	M	1	1	0	バドミントン		
14	N	1	1	0	バスケット		
15	O	1	1	0	野球		
16	P	1	1	0	バレー		
17	Q	1	1	0	サッカー		
18	R	1	1	0	吹奏楽		
19	S	0					
20	T	3	0	3	※バスケット	※卓球	※ソフトテニス
21	U	2	0	2	※バドミントン	※サッカー	
22	V	1	0	1	※バドミントン		
23	W	1	0	1	※バスケット		
24	X	2	2	0	陸上	バドミントン	
25	Y	3	0	3	※ソフトテニス	※バスケット	※バドミントン
26	Z	0					
27	AA	2	2	0	柔道	バレー	
28	AB	0					
29	AC	1	1	0	柔道		
30	AD	0					
31	AE	0					
32	AF	1	1	0	柔道		
33	AG	1	1	0	書写		
34	AH	1	0	1	※野球		
35	AI	0					
合計		32	21	11	太字：採用済	※:人材確保中の為未採用	

※部活動指導員の配置にあたり、各校が探すほか、区においても以下①～③の周知を図っているところであるが、人材確保が難しく、現在21名の配置に留まっている。

- ① ホームページで募集要項を掲載
- ② 足立区体育協会との連携による各運動団体への働きかけ
- ③ 各校への人材紹介への呼び掛け

中学校の部活動（外部指導員（有償ボランティア））

【参考】

部活動指導員とは別に、部活動の技術指導等を行う「外部指導員（有償ボランティア）」を活用している。この外部指導員は、部活動指導員の職務とは異なり、校外活動での単独引率、生徒にかかる指導、事故が発生した場合の現場対応等はない。

学校別の状況は以下の表のとおり。

中学校別 外部指導員（有償ボランティア）配置人数表

令和元年 12 月 19 日現在

	学校名	吹奏楽	サッカー	陸上	野球	バレー	バド	バスケ	演劇	茶道	その他	合計	学校名	その他の部活
1	A中	1	1									2	A中	
2	B中	1					1			1		3	B中	
3	C中	2	1			1		1			1	6	C中	ダンス
4	D中	1									2	3	D中	空手1、剣道1
5	E中				1					1		2	E中	
6	F中	1						1	1			3	F中	
7	G中	1	3				1					5	G中	
8	H中	1								1		2	H中	
9	I中			1							1	2	I中	ソフトテニス
10	J中	1								1	1	3	J中	家庭
11	K中	2		2		1		1				6	K中	
12	M中									1	2	3	M中	ギター・マンドリン、邦楽
13	N中										1	1	N中	美術
14	O中	1			1						3	5	O中	ゴルフ3
15	P中	3								1	1	5	P中	ダンス
16	Q中	2						1				3	Q中	
17	S中										1	1	S中	家庭・美術
18	T中	9		1			2				1	13	T中	卓球
19	U中								2			2	U中	
20	V中	1										1	V中	
21	W中					1		1				2	W中	
22	X中	1				1					1	3	X中	手作り
23	Z中	10										10	Z中	
24	AA中	1								1		2	AA中	
25	AB中	1		1			1					3	AB中	
26	AC中		1								1	2	AC中	美術
27	AD中	1	1									2	AD中	
28	AE中				1							1	AE中	
29	AF中	4									1	5	AF中	ソフトテニス
30	AG中	3					1				1	5	AG中	美術
31	AH中	7		1						1		9	AH中	
32	AI中	2						1		1	2	6	AI中	剣道1、卓球1

32/35校中	57	7	6	3	4	6	6	3	9	20	121
	吹奏楽	サッカー	陸上	野球	バレー	バド	バスケ	演劇	茶道	その他	合計

教員超過勤務時間集計結果(令和元年9月から12月)

調査結果概要

国の公表数値との比較で、過労死ラインと言われている月80時間を超えて超過勤務をしている教員比率は、足立区は全国平均を大きく下回っている。

- ・ 全国平均 小学校:33.5% 中学校:57.6%
- ・ 足立区 小学校:5.7% 中学校:11.0%

ただし、月100時間を超える教員も、小学校22名、中学校35名いた。

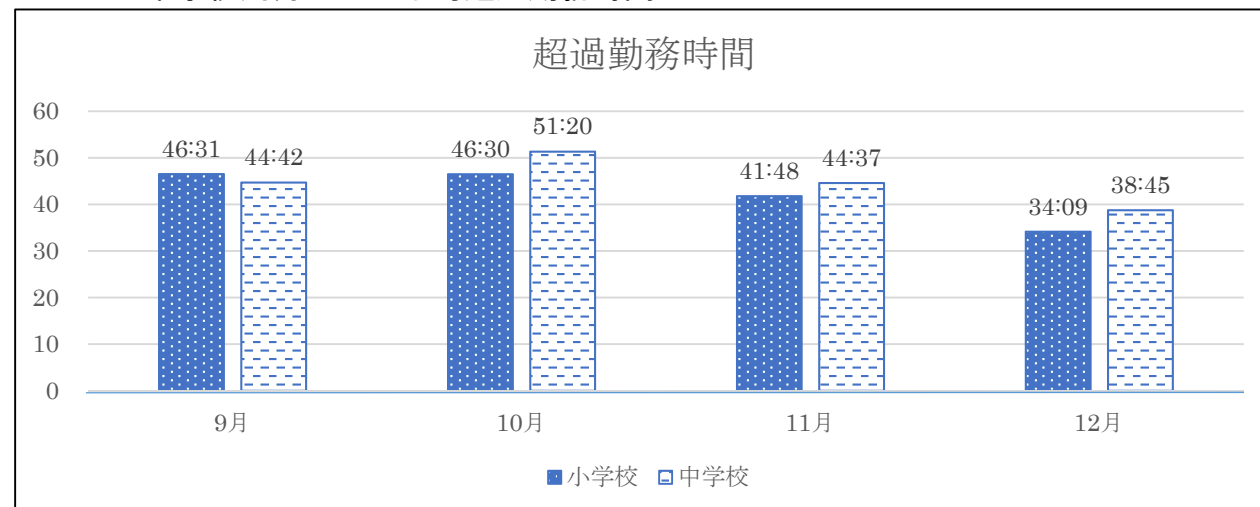
【分析結果・課題】

これまでは客観的数値がなく、自らの長時間の超過勤務意識が希薄。

【解決策等】

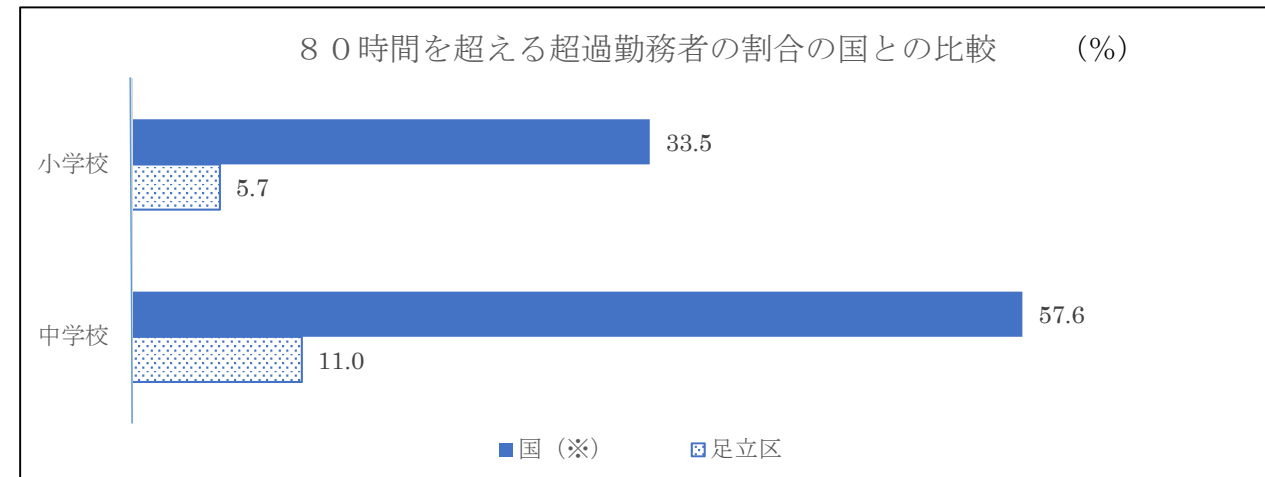
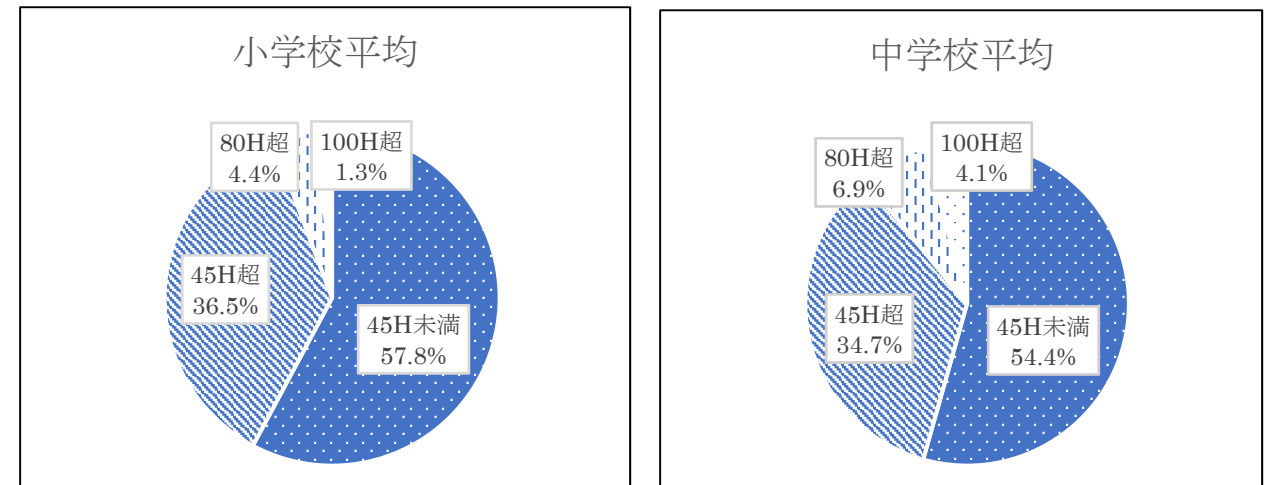
超過勤務時間の長い教員へは産業医との面談勧奨と、管理職からの業務効率化や役割分担の見直しなど、過重な負担がかからないような指導・助言が必要。

1 小・中学校別月ごとの平均超過勤務時間



月平均30~50時間超で推移しており、小学校はほぼ横ばい傾向であるが、中学校の10月は、部活動や学校行事により超過勤務時間が増えた。

2 小・中学校別平均超過勤務者の時間別割合



※文科省「公立小学校・中学校等教員勤務実態調査研究」報告書のデータ(平成28年10・11月調査)

3 小・中学校別平均超過勤務時間ごとの教員数

超過勤務時間	45H未満	45H超	80H超	100H超
小学校教員数 (1,718)	994	627	76	22
中学校教員数 (849)	462	295	58	35
合計 (2,568)	1,456	921	134	57

教員平均超過勤務時間数 上位・下位5校【小・中学校】

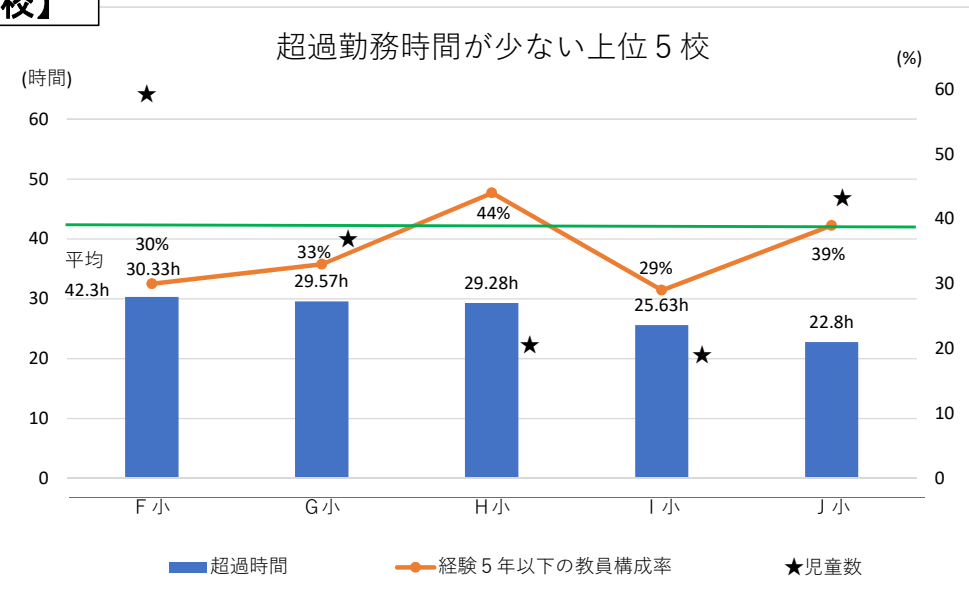
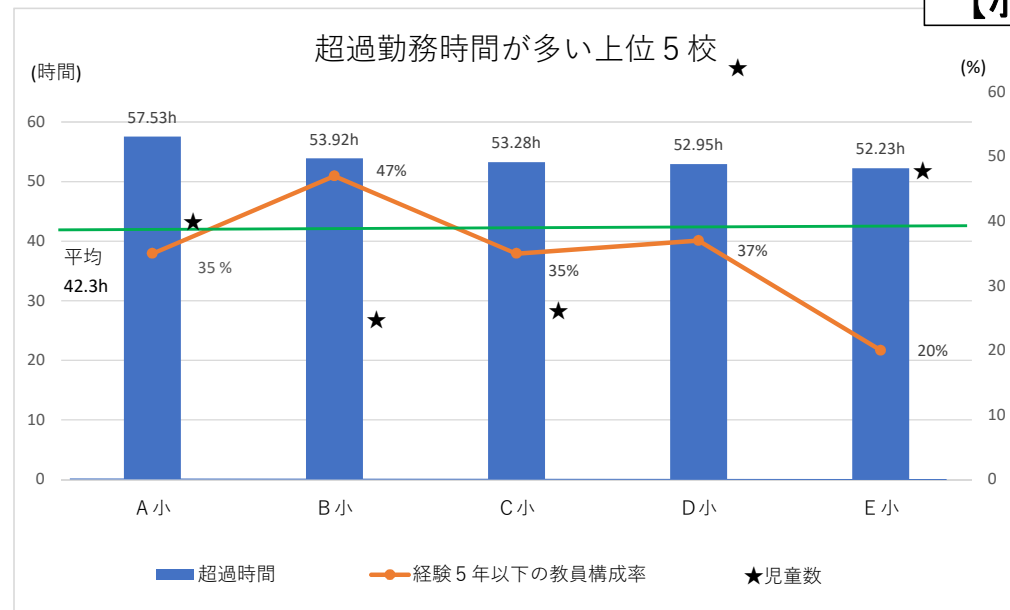
調査結果概要

各校教員の平均超過勤務時間数の多い学校と少ない学校について、児童・生徒数や経験年数の浅い教員数比率との相関の有無を検証した。

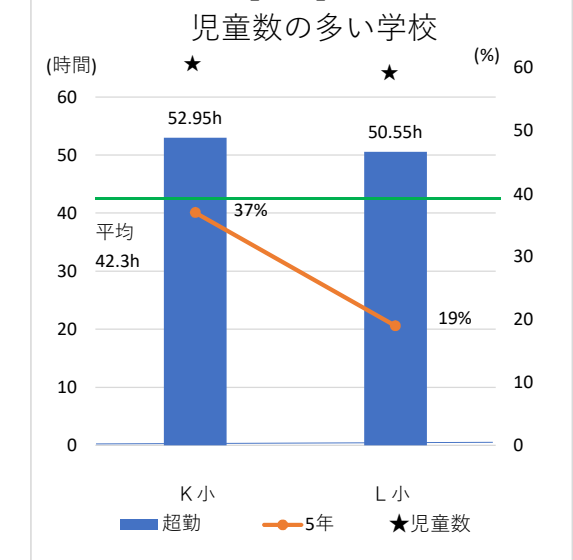
【分析結果・課題】 超過勤務時間数と児童・生徒数、教員の経験年数は、共に明確な相関は見られなかった。

【解決策等】 ワーク・ライフ・バランスを意識した働き方への転換を促すべく、学校管理職からの周知の他、教員向け通知等記載内容の工夫。地域や保護者の更なる協力を得るべく、SNS等も活用した働き方改革についての周知継続。

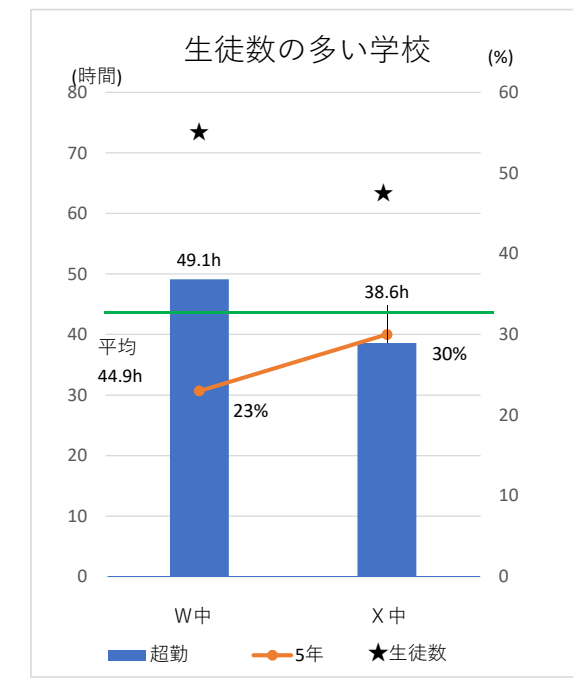
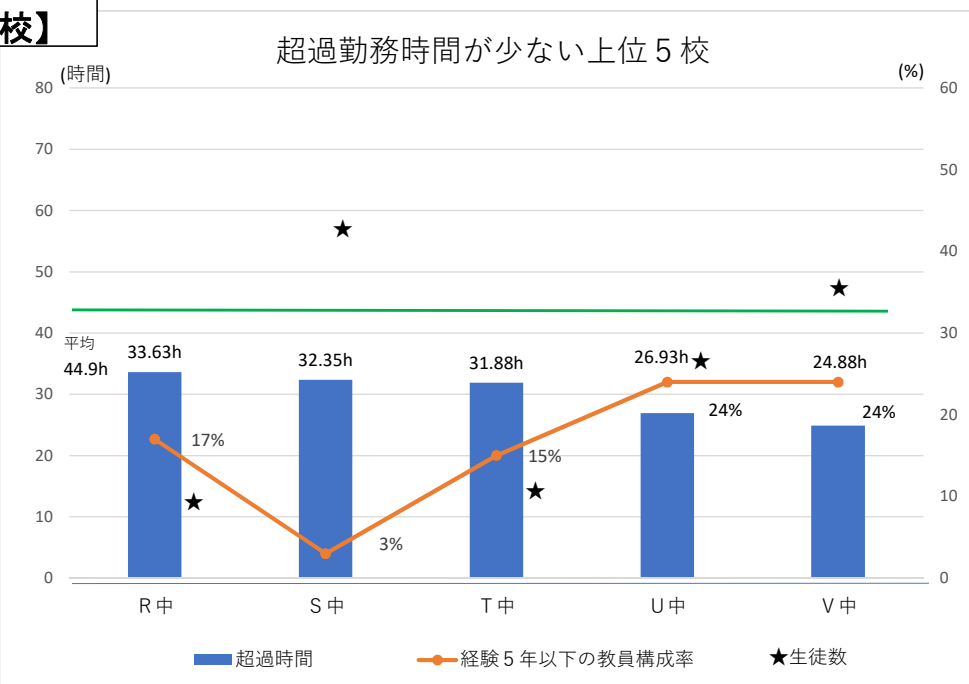
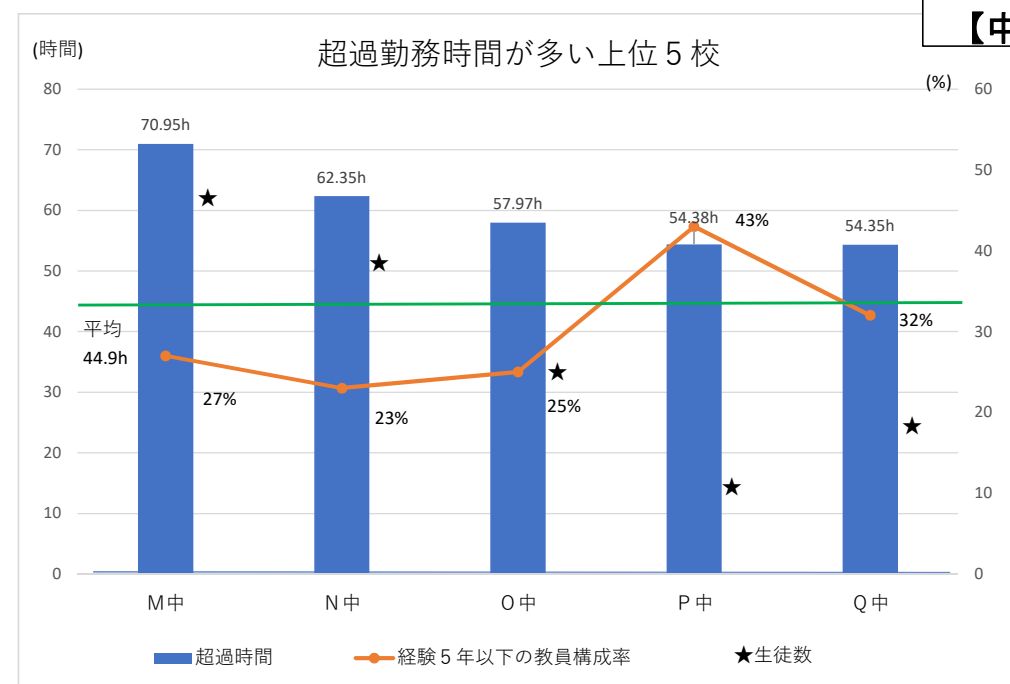
【小学校】



【参考】



【中学校】



文 教 委 員 会 報 告 資 料

令和2年3月13日

件 名	学校給食における食物アレルギー対応の変更内容について																						
所管部課名	学校運営部学務課																						
内 容	<p>近年、食物アレルギー対応が増加傾向にあるなか、今後も安全・安心な学校給食を運営していくために、文部科学省が策定する「学校給食における食物アレルギー対応指針」に沿って、「完全除去対応」を実施していくこととする。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 変更内容</p> <p>「個別対応（現在）」から「<u>完全除去対応</u>」に変更する。</p> <p><u>完全除去対応</u>とは</p> <p>① 他の児童・生徒と同じ給食を提供する</p> <p>② アレルギー原因食物を完全に除いた「除去食」を提供する</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 「使用可能な量」や「加熱の有無」など、食べられる範囲まで個別に対応することは行わない。</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 「除去食」の提供が困難な場合は、お弁当（一部または全部）の持参を依頼する。</p> <p>2 変更時期</p> <p>原則として、令和2年4月から「完全除去対応」に変更する。</p> <p>食物負荷試験の予約がとれない等の理由で4月からの変更が困難な場合は、令和2年度中の切り替えに向けて順次変更していく。</p> <p>3 変更前後の事例比較</p> <table border="1" data-bbox="416 1447 1409 2107"> <thead> <tr> <th colspan="2" data-bbox="416 1447 914 1570">【 事 例 】</th> <th data-bbox="914 1447 1179 1570">個別対応 (現在)</th> <th data-bbox="1179 1447 1409 1570">完全除去 令和2年4月 以降</th> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="416 1570 914 1619">献立</td> <td data-bbox="914 1570 1179 1619">除去対応人数</td> <td data-bbox="1179 1570 1409 1619">除去対応人数</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="416 1619 686 1877" rowspan="2">卵アレルギー 【8人】 (3人は少量可)</td> <td data-bbox="686 1619 914 1709">玉子焼き かきたま汁</td> <td data-bbox="914 1619 1179 1709">8人</td> <td data-bbox="1179 1619 1409 1877" rowspan="2">8人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="686 1709 914 1877">フライ ハンバーグの つなぎ カップケーキ</td> <td data-bbox="914 1709 1179 1877">5人 (3人は通常食)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="416 1877 686 2107" rowspan="3">乳アレルギー 【5人】 (3人は加熱可) (4人は少量可)</td> <td data-bbox="686 1877 914 1939">飲用牛乳</td> <td data-bbox="914 1877 1179 1939">5人</td> <td data-bbox="1179 1877 1409 2107" rowspan="3">5人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="686 1939 914 2024">シチュー</td> <td data-bbox="914 1939 1179 2024">2人 (3人は通常食)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="686 2024 914 2107">カップケーキ</td> <td data-bbox="914 2024 1179 2107">1人 (4人は通常食)</td> </tr> </tbody> </table>	【 事 例 】		個別対応 (現在)	完全除去 令和2年4月 以降		献立	除去対応人数	除去対応人数	卵アレルギー 【8人】 (3人は少量可)	玉子焼き かきたま汁	8人	8人	フライ ハンバーグの つなぎ カップケーキ	5人 (3人は通常食)	乳アレルギー 【5人】 (3人は加熱可) (4人は少量可)	飲用牛乳	5人	5人	シチュー	2人 (3人は通常食)	カップケーキ	1人 (4人は通常食)
【 事 例 】		個別対応 (現在)	完全除去 令和2年4月 以降																				
	献立	除去対応人数	除去対応人数																				
卵アレルギー 【8人】 (3人は少量可)	玉子焼き かきたま汁	8人	8人																				
	フライ ハンバーグの つなぎ カップケーキ	5人 (3人は通常食)																					
乳アレルギー 【5人】 (3人は加熱可) (4人は少量可)	飲用牛乳	5人	5人																				
	シチュー	2人 (3人は通常食)																					
	カップケーキ	1人 (4人は通常食)																					

	<p>4 変更理由</p> <p>(1) 体調不良や食後の運動が重なったときに症状が出る可能性を減少させるため。</p> <p>※ 家庭と学校では環境が異なるため、家庭で食べられる範囲まで摂取しないことで安全性が向上します。</p> <p>(2) 献立による対応人数の変動をなくし、誤配膳や誤食の事故につながるリスクを減少させるため。</p> <p>5 変更の経緯</p> <p>学校栄養業務の受託や特定保健指導等を専門とした事業者（代表は私立大学：食物栄養学科 特任教授）による「学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」の監修（外部チェック）を受けたところ、文部科学省の対応指針に沿って原因食物を完全除去することの指摘があった。</p> <p>原因食物の完全除去対応は、23区の中でも大半の区が既に実施しており、足立区においても、安全性を向上させるため、原則として令和2年4月から実施する。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【学校生活における食物アレルギー対応指針】より抜粋 安全確保のため、原因食物の完全除去対応（提供するかしないか） を原則とする。 【平成27年3月】</p> </div> <p>6 その他</p> <p>区立保育園・こども園についても、令和2年度中の完全除去対応実施に向けて検討中である。</p>
<p>問 題 点 今後の方針</p>	

文教委員会報告資料

令和2年3月13日

件名	第2期足立区子ども・子育て支援事業計画の策定について
所管部課名	子ども家庭部子ども政策課
内容	<p>「子ども・子育て支援法」に基づき、別添のとおり、新たに「第2期足立区子ども・子育て支援事業計画（以下、「本計画」という）」を策定したので、報告する。</p> <p>本計画は、基本理念として掲げる「夢や希望を信じて生き抜く人づくり」の実現のため、就学前児童（0歳から6歳）とその保護者を基本的な対象として、今後力を注いでいく主な子ども・子育て事業を掲げていく。</p> <p>1 本計画の概要</p> <p>(1) 計画の期間 5年間（令和2年度～令和6年度） ※計画内容と実態に乖離が生じた場合には、適宜計画の見直しを行う。</p> <p>(2) 本計画の構成 第1章 計画の策定にあたって 第2章 足立区の子ども・子育て家庭を取り巻く現状と課題 第3章 計画の基本理念、基本目標 第4章 各施策の取り組み 第5章 量の見込みと確保方策 ※第4章までは、法定上任意記載、第5章は必須記載事項。 第6章 資料編</p> <p>2 策定にあたっての主な特徴</p> <p>(1) 第1期計画からの継承 施策群評価や事業評価を経て、基本理念、計画の柱立て、施策群、施策は、第1期計画より継承する。</p> <p>(2) 施策展開のための横断的な視点の追加 施策展開のための横断的な視点として、「子育て支援の質の向上」「ライフステージ間のつながりの強化」を新たに追加する。</p> <p>(3) 第1期計画からの評価対象の変更 施策や事業進捗の可視化のため、施策群に連なる8施策に成果指標を、施策に連なる39事業に活動指標を設定する。</p>
問題点 今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> 印刷製本後、関係者及び関係機関に配付するとともに、ホームページ等で公表し、周知する。 計画の進捗は、足立区地域保健福祉推進協議会（子ども支援専門部会を含む）の場で、審議・調査を行い、管理していく。

文教委員会報告資料

令和2年3月13日

件名	幼児教育・保育の無償化に係る給食費（副食費）区負担及び保護者負担軽減費の拡大について																										
所管部課名	子ども家庭部 子ども政策課、子ども施設入園課																										
内容	<p>令和2年度から就学前の施設を利用している保護者負担の更なる軽減を図るため、認可保育所等の副食費を区負担、幼稚園・認証保育所の保護者負担軽減費拡大を下記のとおり実施する。</p> <p>1 現状</p> <p>足立区では、令和元年10月から開始された幼児教育・保育の無償化にかかる保育料以外の給食費やその他の実費については、国の方針に基づき保護者負担とした。</p> <p>(1) 認可保育所等は3～5歳児のみ副食費4,500円を保護者負担。</p> <p>(2) 幼稚園・認証保育所は保育料以外の経費は実費として保護者負担。</p> <p>※区による無償化の内容（保育料）</p> <table border="1" data-bbox="443 1149 1407 1856"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="2">0歳～2歳</th> <th rowspan="3">3歳～5歳</th> </tr> <tr> <th colspan="2">住民税の課税状況</th> </tr> <tr> <th>課税</th> <th>非課税</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認可保育施設 認定こども園 (長時間利用)</td> <td>有償 第2子：半額 第3子：無償</td> <td>無償</td> <td>無償</td> </tr> <tr> <td>幼稚園 認定こども園 (短時間利用)</td> <td colspan="2" rowspan="2" style="text-align: center;">/</td> <td>月29,000円まで無償</td> </tr> <tr> <td>預かり保育</td> <td>月11,300円まで無償</td> </tr> <tr> <td>認証保育所</td> <td colspan="2">月40,000円～67,000円まで無償</td> <td>月37,000円～57,000円まで無償</td> </tr> <tr> <td>認可外保育施設等</td> <td>有償</td> <td>月42,000円まで無償</td> <td>月37,000円まで無償</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 実施理由</p> <p>(1) 保護者負担の更なる軽減を図り、多くの子どもの幼児教育・保育を受ける機会を拡大し、対象施設の利用促進を図る。</p> <p>(2) 23区中18区が令和元年10月より認可保育所等への副食</p>		0歳～2歳		3歳～5歳	住民税の課税状況		課税	非課税	認可保育施設 認定こども園 (長時間利用)	有償 第2子：半額 第3子：無償	無償	無償	幼稚園 認定こども園 (短時間利用)	/		月29,000円まで無償	預かり保育	月11,300円まで無償	認証保育所	月40,000円～67,000円まで無償		月37,000円～57,000円まで無償	認可外保育施設等	有償	月42,000円まで無償	月37,000円まで無償
	0歳～2歳		3歳～5歳																								
	住民税の課税状況																										
	課税	非課税																									
認可保育施設 認定こども園 (長時間利用)	有償 第2子：半額 第3子：無償	無償	無償																								
幼稚園 認定こども園 (短時間利用)	/		月29,000円まで無償																								
預かり保育			月11,300円まで無償																								
認証保育所	月40,000円～67,000円まで無償		月37,000円～57,000円まで無償																								
認可外保育施設等	有償	月42,000円まで無償	月37,000円まで無償																								

	<p>費区負担を実施しており、23区や認可保育所等以外の施設に通う子ども達との均衡を図る。</p> <p>3 内容</p> <p>(1) 認可保育所等の副食費全額区負担</p> <p>ア 負担内容 一人につき副食費4,500円/月</p> <p>イ 対象者 認可保育所等の3～5歳の子ども</p> <p>ウ 区負担額 約350,000千円/年</p> <p>※ 下記条例を改正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「足立区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例」 ・「足立区特定教育・保育施設、特定地域型保育事業等の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例」 <p>(2) 幼稚園の保護者負担軽減費補助対象額の拡大</p> <p>ア 補助内容 保育料の補助上限29千円から33千円/月まで引上げ（教材費等の実費負担を軽減）及び入園料を所得に係りなく一律100千円まで補助</p> <p>イ 対象者 幼稚園入園している子ども</p> <p>ウ 区負担額 約400,000千円/年</p> <p>※ 保護者負担軽減として、補助金の支払いを保護者への直接払いから施設への代理払いへ変更を進めている。</p> <p>(3) 認証保育所の保護者負担軽減費補助対象額の拡大</p> <p>ア 補助内容 給食費を補助対象に含め、補助上限まで補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ※0歳～2歳は最大40～67千円/月 ※3歳～5歳は最大37～57千円/月 ※対象者一人あたり平均5,451円/月の増 <p>イ 対象者 認証保育所に入所している子ども</p> <p>ウ 区負担額 約5,000千円/年</p> <p>※都補助1/2（10/10の場合もあり）</p>
<p>問題点 今後の方針</p>	<p>【区民周知】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年3月 施設利用者は各施設を通じて説明 ・令和2年4月 あだち広報・ホームページによる周知

文 教 委 員 会 報 告 資 料

令和2年3月13日

件 名	成人年齢引き下げに伴う式典等に関する区の方針について
所 管 部 課 名	子ども家庭部青少年課
内 容	<p>平成30年6月に成人年齢の引下げに関する法案が可決され、令和4年度から成人年齢が18歳となる。</p> <p>このことを受け、式典参加対象年齢、日程等については、教育委員、及び「成人の日の集い」実行委員の各意見、アンケート結果、他区の動向等から総合的に判断し、この度、方向性を見出したため、以下のとおり報告する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 対象年齢について <u>20歳とする。</u></p> <p>(1)理由 ア 18歳とした場合、進学・就職等の進路決定の時期と重なり参加出来ない等の支障が出るのが想定されるため。 イ 初年度は3学年同時の実施となり、運営、警備や会場確保等に課題があるため。</p> <p>2 日程について <u>現行どおり、1月第2週の月曜日「成人の日」(月・祝)とする。</u></p> <p>(1)理由 式典を執り行うには、前日に会場設営・リハーサルで終日を要すること、関係団体との打ち合わせ等直前にも様々な準備が必要であり日程的に月曜日が望ましいため。</p> <p>3 名称について <u>「二十歳の集い」をひとつの候補として検討する。</u> 現行：「成人の日の集い」</p> <p>4 参考 (1)法改正の内容 ア 18歳で得られる権利 一人暮らしの賃貸借契約 / 携帯電話の契約 / 10年パスポートの取得 / 薬剤師、司法書士などの資格取得など イ 20歳のままの権利 飲酒 / 喫煙 / ギャンブル(競馬・競輪・オートレース) 刑事責任(少年法の適用) / 大型・中型自動車免許の取得</p>

(2) 教育委員の意見

- ・式典参加は、大学受験等があるため20歳での実施がよいが、例えば冊子等を使い、18歳で成人となることの自覚を促す何らかの働きかけは必要である。
- ・定着しているため日程は暦どおりでよい。

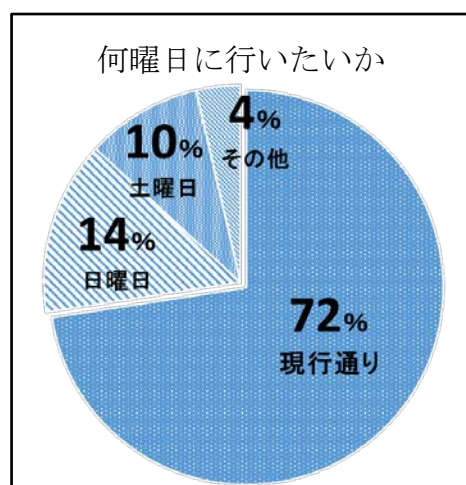
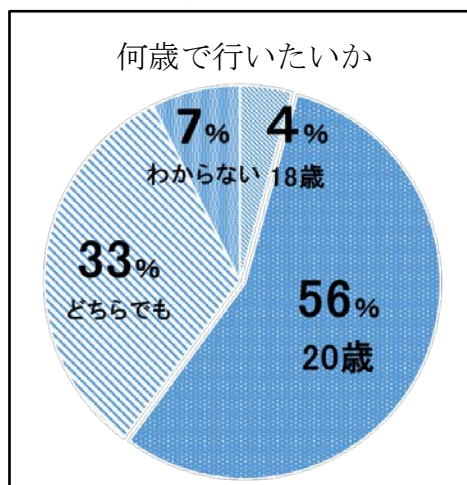
(3) 「成人の日の集い」実行委員の意見

- ・式典参加は20歳がよい（総意）
- ・日程は、「成人の日」であれば自覚が持てる。日曜日なら翌日休めるメリットがある。

(4) 区実施の各アンケート結果

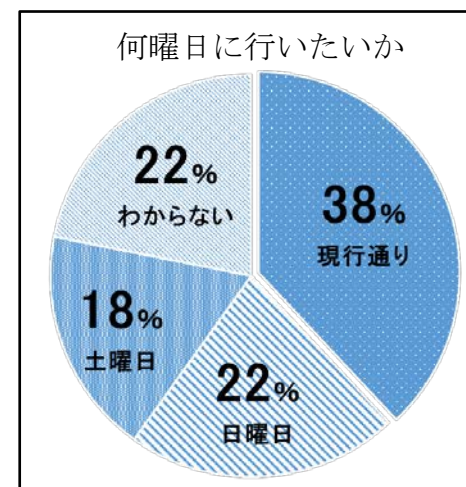
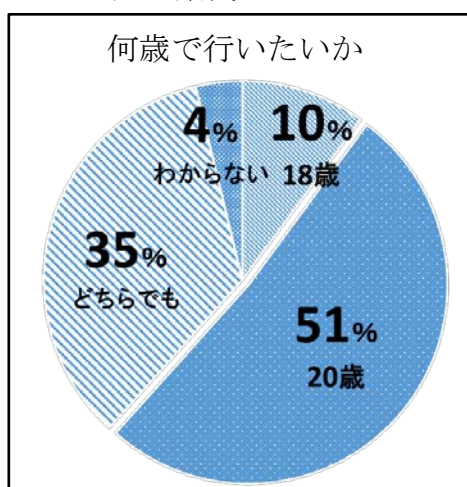
ア 区内都立高の3年生（1,891名）

実施期間：2019.4.10～5.17

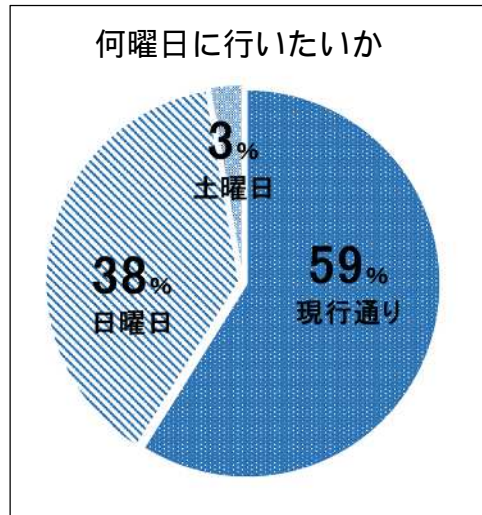


イ 区内中学校14校の3年生（1,483名）

実施期間：2019.9.30～10.25



ウ 「成人の日の集い」に参加した新成人（185名）



問題点
今後の方針

令和4年度以降の「成人の日」の式典については区民の関心も高く、また、2年前から準備を始める方もいらっしゃるため、方針については、広報・ホームページ・SNS等で広く周知していく。